取扱説明書

デジタルスチルカメラ
型名 **GC-X1(T)**

はじめに
準備
基本
応用
その他

Digital Still Camera GC-X1(T)

お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(8〜15ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0542-001A

いますぐ撮影したい

☞ は参照ページです。

必要なもの

❶ 電源をつなぐ（☞28ページ）

❷ メモリーカードを入れる（☞30ページ）

❸ 電源を入れる (☞34ページ)

❹ 撮る (☞38ページ)

❺ 再生する (☞39ページ)

もくじ

はじめに

準備

基本

応用

本文中の記号の見方

 操作上の注意などが書かれています。

 機能や使用上の制限などが書かれています。

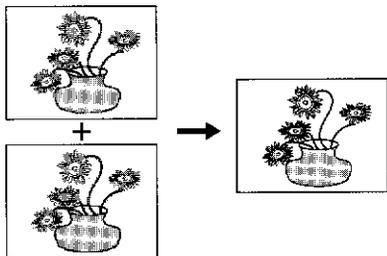
 知っているとちょっと便利な内容やキーポイントが書かれています。

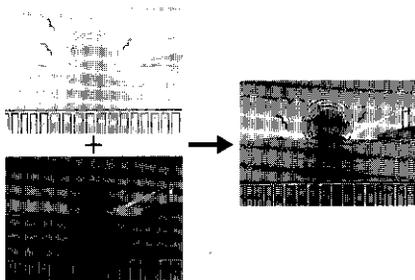
 参照ページや参照項目を示しています。

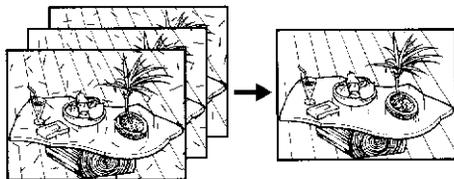
主な特長

静物撮影時にクラスを越えた高画質を実現

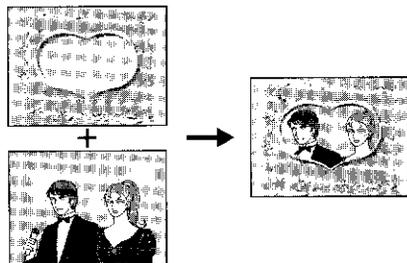
■ ピクセルシフトモード（☞54ページ）

1枚の撮影後、時間をおいてもう1枚をCCD 1画素分ずらして撮影し、2回の露出をすることで、通常撮影時の約2倍、600万画素相当で撮影することになり、通常の2倍のデータを得られます。

■ ワイドレンジモード（☞55ページ）

2度の露出により、暗部に露出を合わせた画像と明部に露出を合わせた画像をそれぞれ撮影。両方の画像データを使って、従来にない高ダイナミックレンジを得ることが可能。従来のデジタルスチルカメラに起こりがちな黒つぶれや白とびを防ぎます。

■ ノイズリダクション（NR）モード（☞56ページ）

数秒間の連続の露出により、画像情報量を大量に取り込み、信号成分を抽出、ノイズ成分をカット。従来のデジタルスチルカメラに起こりがちな電子ノイズをカットします。

フレーム撮影機能

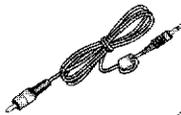
フレームに被写体を重ねて撮影することができます。
オリジナルのポストカードが作成できます。（☞53ページ）

- フレーム機能を使うためには、専用のメモリーカード（別売：CU-TSM08）をお買い求めください。
- フレームは、実際の商品と異なるイメージを記載しています。

大切な撮影の前に

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影されていることを確かめてください。
- お買い上げ時はメモリーカードは付属されていません。別売のメモリーカードをお買い求めください。
- 撮影する場合は、メモリーカードの残りの枚数を確認して、正常に撮影できることを確かめてください。
- 万一、デジタルスチルカメラおよびメモリーカード等の不具合により、正常に撮影や再生ができなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切なメモリー画像は、パソコン等にも保存してください。メモリー画像の変化・消失については、弊社は一切その責任は負いませんのであらかじめご了承ください。

●スマートメディア™カードは㈱東芝の登録商標名です。
●本書では、スマートメディア™カードをメモリーカードと説明しています。

著作権について

あなたがデジタルスチルカメラで撮影、録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠危険　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

■煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■落としたり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、デジタルスチルカメラの故障やけがの原因となります。

⚠警告

■電源コードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
　加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
　熱器具に近づける

■内部に物を入れない

・メモリーカードやバッテリーの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない

・メモリーカードやバッテリーの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

■レンズを太陽や強い光源に向けない

・レンズを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

■フラッシュを至近距離で人に向けない

・目に近づけて使用すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたす原因となります。特に乳幼児に対して 1m 以内の距離で使用しないでください。

■フラッシュの発光部分を手で触らない

・フラッシュの発光後、発光部分に触らないでください。
・やけどの原因となります。

⚠警告

■ぬらさない

・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない

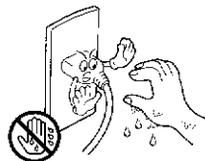
・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

⚠注意

■電源コードはコードの部分を持って抜かない
・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・プラグの部分を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない
・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
・火災や感電の原因となることがあります。

■本体に衝撃を与えない
・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

■指定以外のアクセサリーを使わない
・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない
・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する
・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

⚠注意

■長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■市販の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■バッテリーやストラップは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

ACアダプター、バッテリーについて

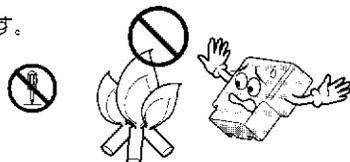
⚠危険

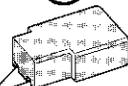
■ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない
・火災や感電の原因となります。

■ACアダプターは指定以外の機器には使わない
・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、デジタルスチルカメラやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■ACアダプターを分解や改造はしない
・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■バッテリーを充電するときは、指定のACアダプターを使う
・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない
・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

■高温の場所（60℃以上）に置かない
・発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーの端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運ぶときにはビニール袋に入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。また、保護カバーが付いているときは、保護カバーを使用してください。

■指定以外のバッテリーは使わない、また液漏れを起こしたバッテリーを使わない

・液漏れを起こしたバッテリーはショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・バッテリーを入れる前に品番をよく確かめてください。
・バッテリーの液が漏れたときは、バッテリー取り付け部の液をよく拭き取ってから新しいバッテリーを入れてください。
・バッテリーの液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■バッテリーは幼児の手の届かない所に置く

・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない

・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

各部のなまえとはたらき

前面／上面

フォーカスボタン
フォーカスモードの確認やモードを変えるときに押します。
（☞42ページ）

アイリスボタン
アイリスモードの確認やモードを変えるときに押します。（☞43ページ）

LCDパネル
現在のモードを文字や記号で表示します。
（☞18ページ）

＋/－（露出補正）ボタン
撮影時の明るさ設定の確認や明るさを変えるときに押します。
（☞45ページ）

シャッターボタン
半押しと全押しの2つのポジションがあります。（☞32ページ）

フラッシュボタン
フラッシュモードを変更するときに押します。
（☞41ページ）

モード切換レバー
撮影モードや再生モードを切り換えます。（☞21ページ）

セルフタイマーボタン
時間設定を変えるときに押します。
（☞40ページ）

ズームレバー
ズーム撮影や、液晶画面の明るさ調節のときに使います。（☞25, 35ページ）

マクロボタン
マクロモードにするときに押します。
（☞44ページ）

メニュー選択（▲/▼/◀/▶）ボタン
各種設定や選択のときに押します。（☞22ページ）

背面／底面

ディスプレイボタン
液晶画面のオン/オフ設定やカメラモードでのメニュー表示、再生表示のインデックス表示選択のときに押します。

実行ボタン
各メニューでの選択決定の際や動画の再生ボタンとしても使用します。

ファインダー
撮影のときにのぞきます。
（☞32ページ）

ロックボタン
電源ダイヤルを回すときに押します。
（☞18ページ）

撮影スタンバイLED（緑色）
点滅から点灯に変わると撮影ができます。

電源ダイヤル
電源の入 / 切やカメラのモードを切り換えます。（☞18ページ）

フラッシュスタンバイLED（赤色）
点滅から点灯に変わるとフラッシュができます。

ハンドストラップ/レンズキャップ取り付けノブ
（☞29ページ）

カバーを手前に引いてあけます。

液晶画面
撮影時、再生時に画像が写ります。
（☞19ページ）

ビデオ出力端子
再生の画像を出力します。
（☞66ページ）

プリンター出力端子
専用プリンターGV-SP1、SP2(別売)と専用コードで接続します。（☞67ページ）

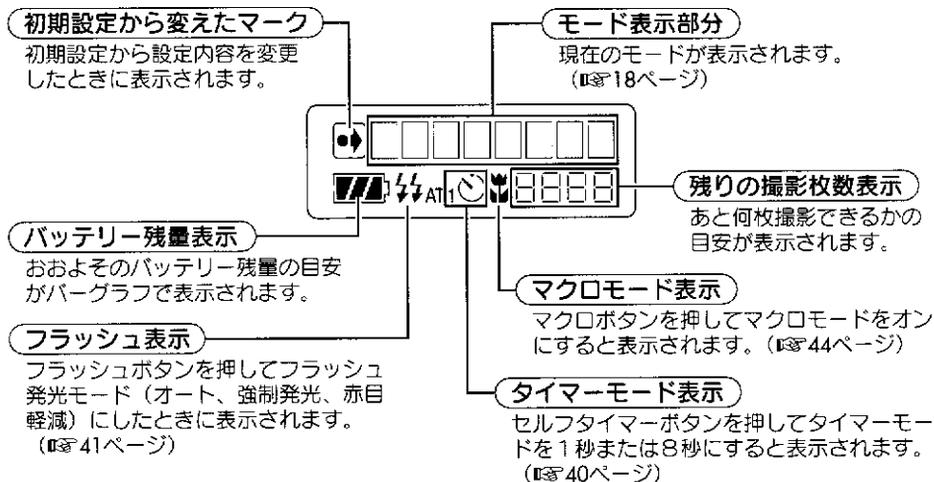
デジタル出力端子
パソコンとの接続の際に使用します。
（☞75, 84ページ）

DC入力端子
専用ACアダプター(AA-V37)からDCコードで入力します。（☞28ページ）

バッテリーカバー
バッテリーを交換するときにあけます。
（☞27ページ）

三脚取付け穴
三脚を取り付けるときは、この穴にネジを差し込んで取り付けます。
（☞33ページ）

メモリーカードカバー
別売のメモリーカードを出し入れするときにあけます。（☞30ページ）

LCDパネル表示（撮影時／再生時）

電源ダイヤルとモード表示

電源ダイヤルの位置を換えると、液晶画面とLCDパネルのモード表示は次のように変わります。

●ロックボタンを押しながら回します。

電源ダイアルの位置	LCDパネル	液晶画面	参照ページ
セット	セットアップ	セットアップメニュー画面を表示	22
再生	スチルプレイ	再生画像を表示	57
切	−	−	−
A	カメラオート	撮影画像を表示（ディスプレイボタン押す）	34, 38
M	カメラ	撮影画像を表示（ディスプレイボタン押す）	34, 42
F	フレーム	撮影画像を表示（ディスプレイボタン押す）	34, 53

液晶画面表示（撮影時／再生時）

撮影時

（タイマーモード表示）
セルフタイマーボタンを押してタイマーモードを1秒または8秒にすると表示されます。（☞40ページ）

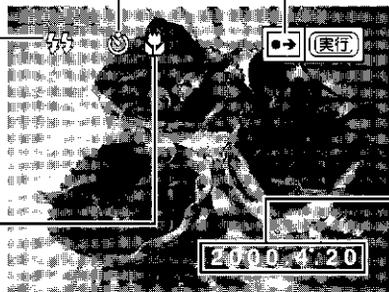
（フラッシュ表示）
フラッシュボタンを押してフラッシュ発光モード（オート、強制発光、赤目軽減）にしたときに表示されます。（☞41ページ）

（マクロモード表示）
マクロボタンを押してマクロモードをオンにすると表示されます。
（☞44ページ）

（初期設定から変えたマーク）
初期設定からカメラ設定内容を変更したときに表示し、実行ボタンを押すと内容が表示されます。
（☞20ページ）

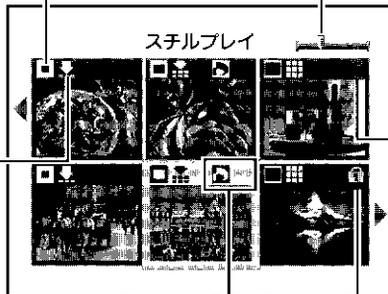
（日付表示）
日付の表示は設定によって年月日、月日年、日月年の3種類の表示があります。（☞24ページ）

2000.4.20

再生時

（画像サイズ表示）

■：640×480
□：1024×768
□：2032×1536
（☞36ページ）

（画質表示）

：スタンダードモード
：ファインモード
：非圧縮モード
（☞37ページ）

（画像枚数表示位置）
現在表示している再生画像が、全体の画像枚数のどの位置にあるかを示しています。

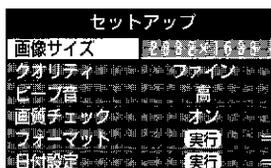
（削除表示）
削除したい画像を選ぶとこのマークが表示されます。（☞59ページ）

（表示）
画像にDPOF設定がされていると、このマークが表示されます。
（☞70ページ）

（プロテクト表示）
画像にプロテクト（削除防止）がかけてあると、このマークが表示されます。（☞58ページ）

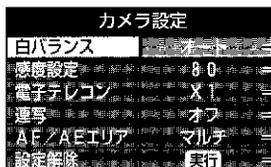
メニュー一覧

セットアップメニュー画面

電源ダイヤルを「セット」に合わせると表示します。

液晶画面表示

● 操作方法は以下のページをご覧ください。

カメラ設定メニュー画面

電源ダイヤルを「M」に合わせ、ディスプレイボタンを押して液晶画面を表示させます。ディスプレイボタンを押すとカメラ設定メニューを表示し、再度ボタンを押すと表示が消えます。

● 操作方法は以下のページをご覧ください。

液晶画面表示

カメラ設定の確認画面

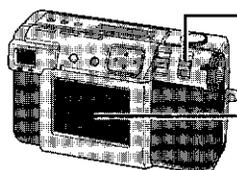
電源ダイヤルを「M」に合わせ、ディスプレイボタンを押して液晶画面を表示させます。実行ボタンを押し続けると、現在のカメラ設定メニューの内容を表示します。

液晶画面表示

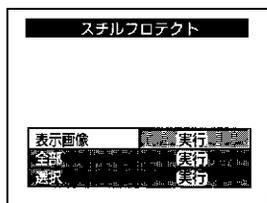
● 実行ボタンを押しているあいだ表示します。

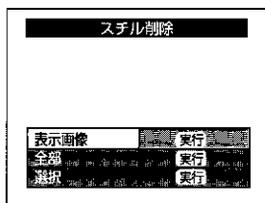
● すべてのメニュー画面表示で、文字が灰色に変わっているときは、設定できません。

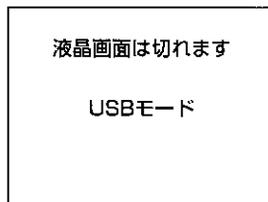
再生メニュー画面

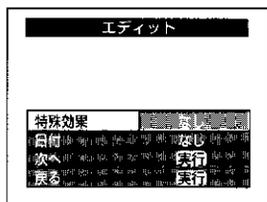
電源ダイヤルを「再生」に合わせ、モード切換レバーを押すごとに、各モードを液晶画面に表示します。

スチルプレイ

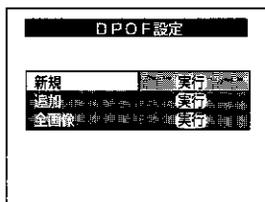
(☞57ページ)

S(スチル)プロテクト

(☞58ページ)

スチルサクジョ

(☞59ページ)

USBモード

(☞78, 87ページ)

エディット

(☞60ページ)

DPOFセット

(☞70ページ)

セットアップメニューを変更する

撮影の状況に応じてカメラの設定を変更することができます。

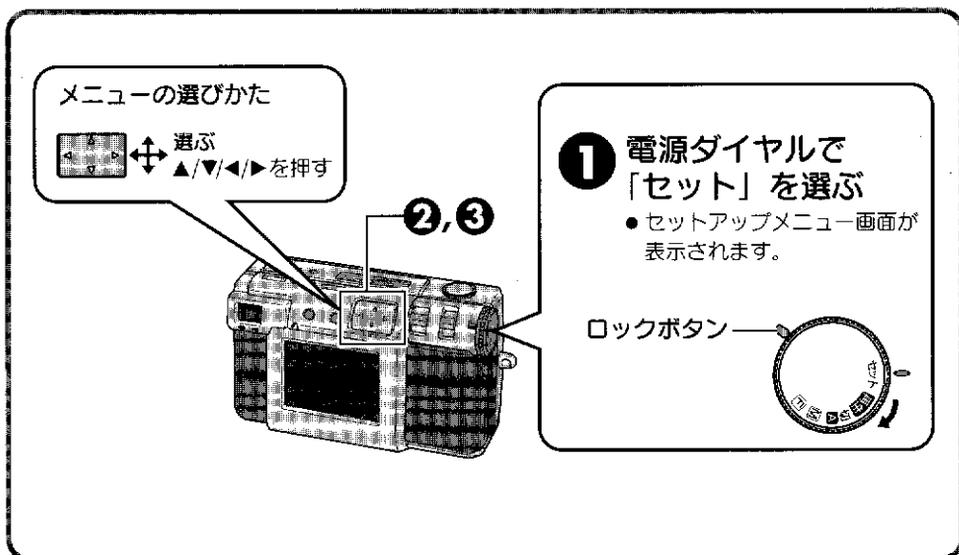
メニューの選びかた

選ぶ
▲/▼/◀/▶を押す

❶ 電源ダイヤルで「セット」を選ぶ

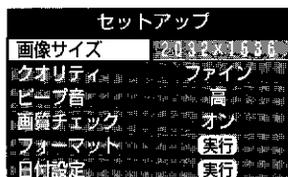
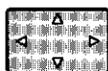
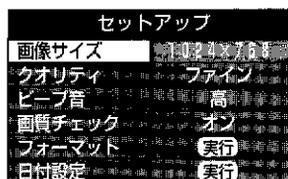
● セットアップメニュー画面が表示されます。

ロックボタン

❷,❸

❷ ▲／▼ボタンで「項目」内容を選ぶ

● フォーマット／日付設定は、項目を選び、実行ボタンを押します。(☞24, 31 ページ)

❸ ◀／▶ ボタンで選んだ項目の設定内容を決定する

セットアップ
画像サイズ
クオリティ ファイン
ビープ音 高
画質チェック オン
フォーマット 実行
日付設定 実行

● 設定内容が変更されます。

セットアップメニューについて

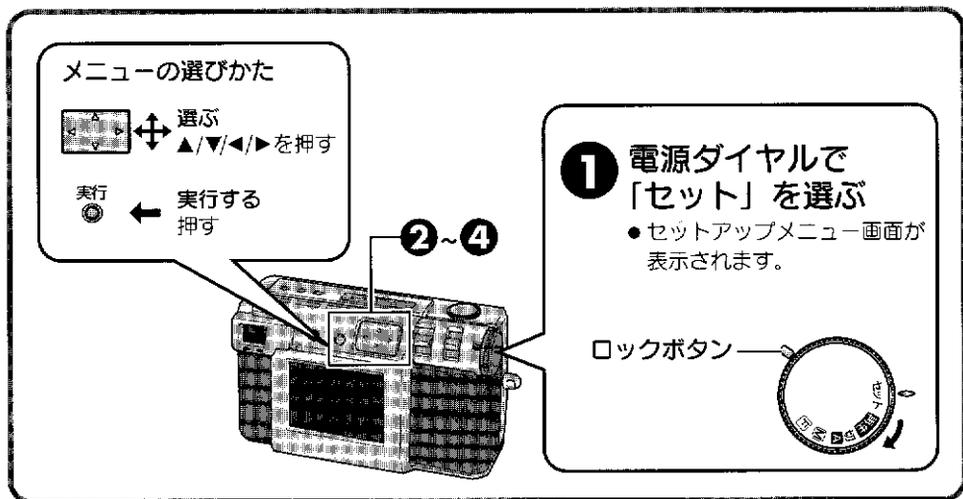
準備

項目	設定内容
画像サイズ	記録する画像サイズを3種類から選択します。 ・2032X1536 (QXGA 相当) ・1024X768 (XGA) ・640X480 (VGA)
クオリティ	記録する画像の画質を3種類から選択します。 ・ファイン　　：高画質のデータです。 ・スタンダード：標準画質のデータです。 ・非圧縮　　　：圧縮しないTiff形式のデータです。
ビープ音	撮影時などに出るお知らせ音の音程を調節します。 ・高　：高音になります。 ・低　：低音になります。 ・オフ：鳴りません。
画像チェック	オン：撮影した画像が液晶画面に2秒間表示されます。 オフ：液晶画面に表示されません。
フォーマット	実行：メモリーカードをフォーマットします。☞31ページ
日付設定	実行：日付や時計を変更するときに設定します。☞24ページ

●本機は、パワーセーブ機能があります。何も操作しないと約3分後、自動的に電源が切れます。
再び電源を入れたいときは「ディスプレイボタン」を押してください。ボタンを押しても電源が入らないときは、電源ダイヤルを一度「切」にしてから合わせ直してください。

●撮影した画像をすぐに見るときは、画像チェックの項目を「オン」に変更してください。

日付を設定する

本機の日付を合わせます。海外旅行などで日付や時計を変えるときや、時計がズレたときに合わせます。

❷ ▲／▼ボタンで「日付設定」を選び、実行ボタンを押す

● 日時設定メニュー画面が表示されます。

❸ ▲／▼ボタンで「年、月、日、時、分、表示」を選び、◀／▶ ボタンで数値などを変更する

日付設定	
年	2000
月	4
日	1
時	AM12
分	00
表示	年月日
終了	実行

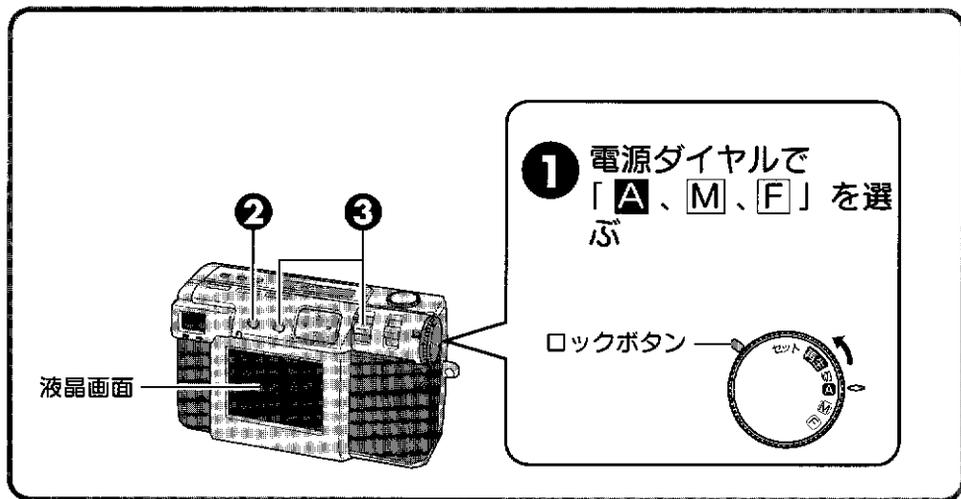
❹ ▲／▼ ボタンで「終了」を選び、実行ボタンを押す

● セットアップメニュー画面に戻ります。

MEMO セットした日付は

- 内蔵のバックアップ電池によって記憶しています。バックアップ電池は、ACアダプターなどの電源を24時間以上接続すると、時計用のバックアップ電池が充電されます。
- 分の設定をしないと時計は動きません。
- 日付表示は撮影情報として記憶されるだけです。撮影した画像に、日付表示は記録されません。

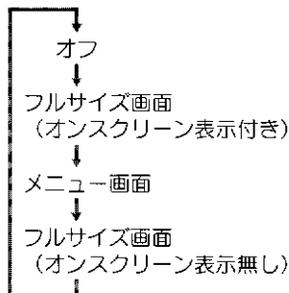
液晶画面の明るさを調節する

液晶画面の明るさを調節してから、撮影や再生を行います。

❷ ディスプレイボタンを押す

- ディスプレイボタンを押して表示モードを切り換えます。

- ディスプレイボタンを押すごとに
  例）Mのとき

❸ 実行ボタンを押したままズームレバーを押す

- 液晶画面の明るさを調節します。

セットした明るさは

- メモリーカードに記録されるデータには影響ありません。

バッテリーを充電する

バッテリーの充電には付属のACアダプターを使用します。

❸外す

❶

❷入れる

コンセント

バッテリー
(BN-V37)

電源コード

電源ランプ
電源コードを入れると点灯します。

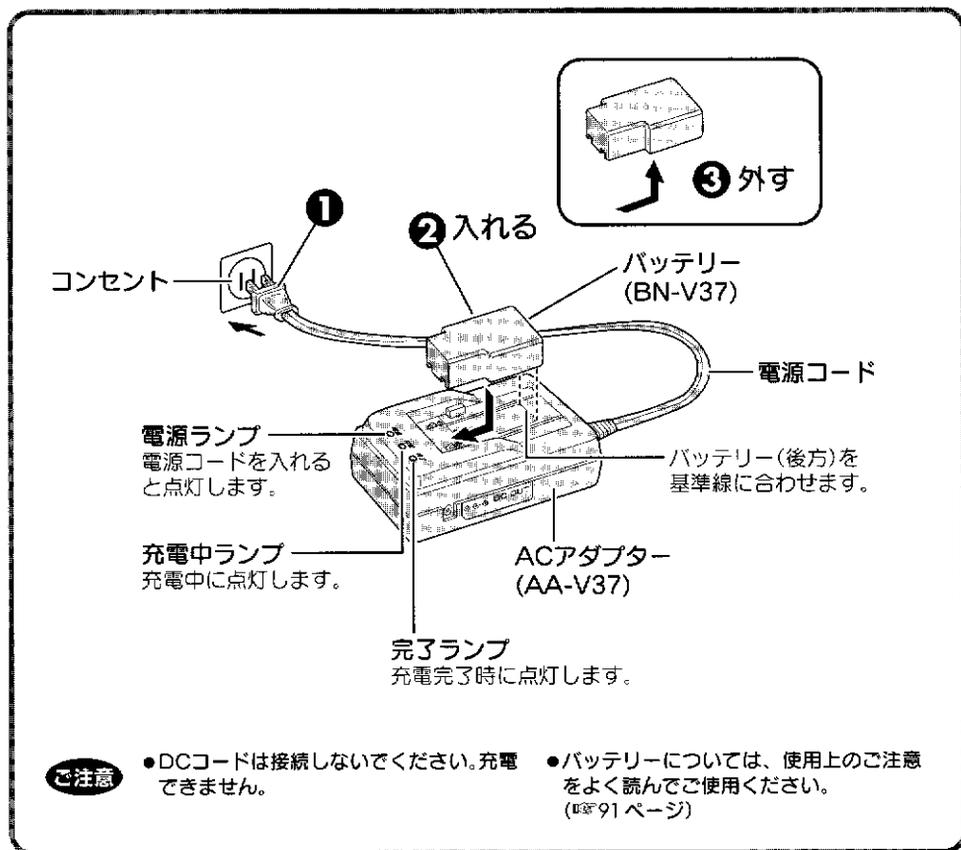
バッテリー(後方)を基準線に合わせます。

充電中ランプ
充電中に点灯します。

ACアダプター
(AA-V37)

完了ランプ
充電完了時に点灯します。

ご注意

- **DCコードは接続しないでください。充電できません。**
- **バッテリーについては、使用上のご注意をよく読んでご使用ください。**
  (☞91ページ)

- **充電時間の目安** ➡ バッテリー（BN-V37）1個で 約90分（室温10℃〜35℃）
- **充電できない** ➡ ACアダプターにDCコードが接続されていると充電できません。
- **充電しても撮影時間が短い** ➡ 寿命です。新しいバッテリーをご購入ください。
- **バッテリー(BN-V37)寿命の目安** ➡ 連続撮影枚数 ： 500枚（液晶画面オフ）
  300枚（液晶画面オン）
  （常温で5秒間隔連続撮影、フラッシュ／ズームを使用しない場合）
  実撮影枚数 ： 65枚
  （常温で30秒間隔撮影、フラッシュ、ズーム、オートフォーカス、液晶画面を使用した場合）

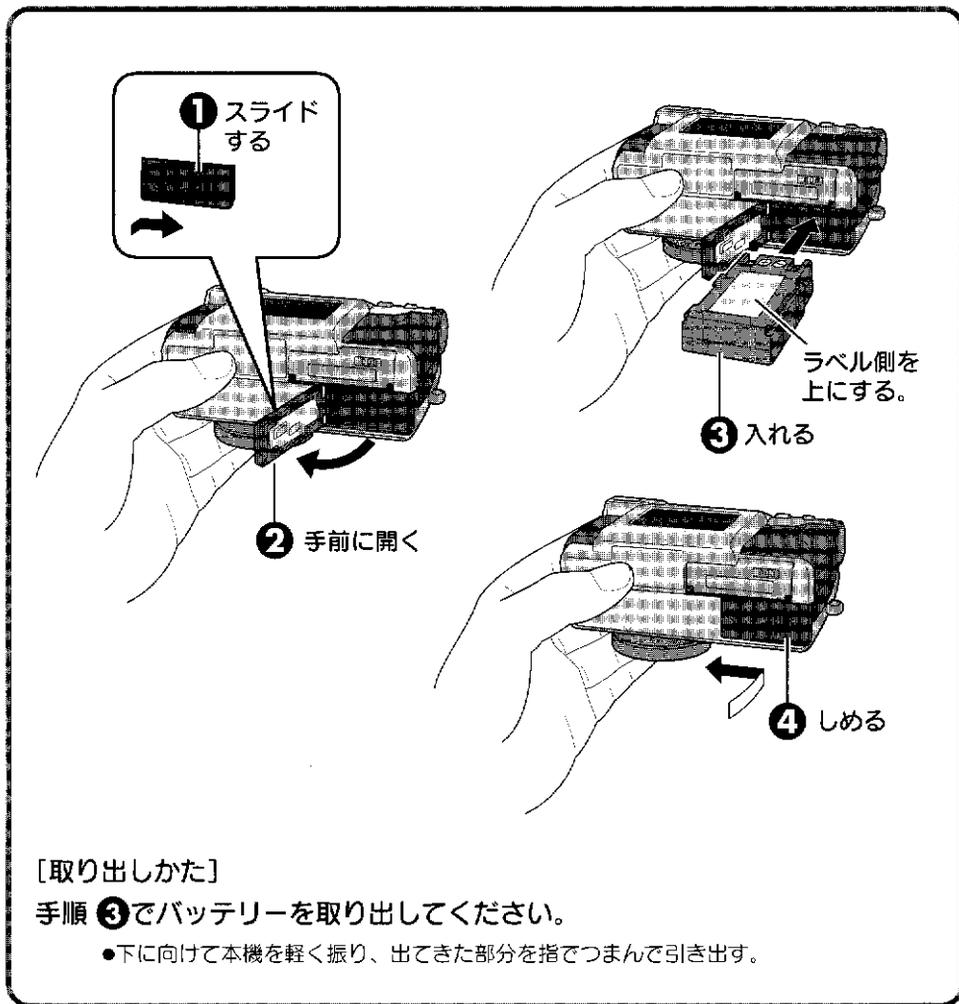
● 撮影枚数はおおよその目安です。フラッシュ、ズームなどの使用条件により、撮影枚数が少なくなることがあります。

充電したバッテリーを取り付ける

バッテリー（付属）はお買い上げ時は充電されていません。ACアダプターで充電してからお使いください。

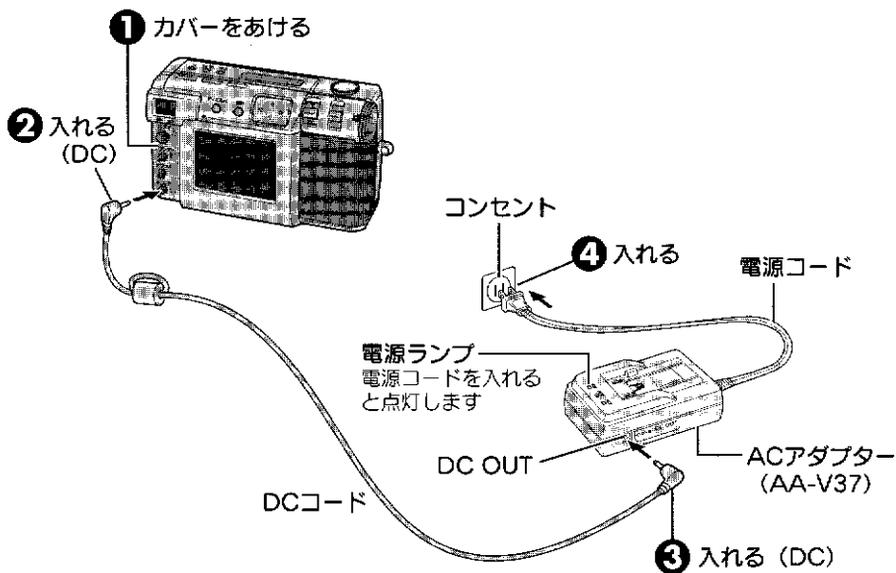
[取り出しかた]

手順❸でバッテリーを取り出してください。

- 下に向けて本機を軽く振り、出てきた部分を指でつまんで引き出す。

- 本機をソフトケースなどに入れるとき、電源ダイヤルが回って電源が入ることがありますのでご注意ください。そのままにするとバッテリーがなくなり、撮影ができなくなることがあります。
- 本機を持ち運ぶときは、バッテリーを取り外されることをおすすめします。

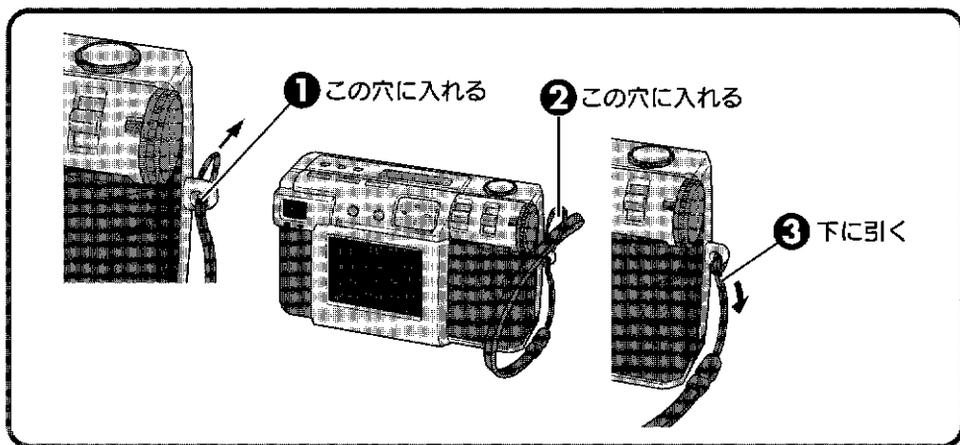
コンセントにつないで使う

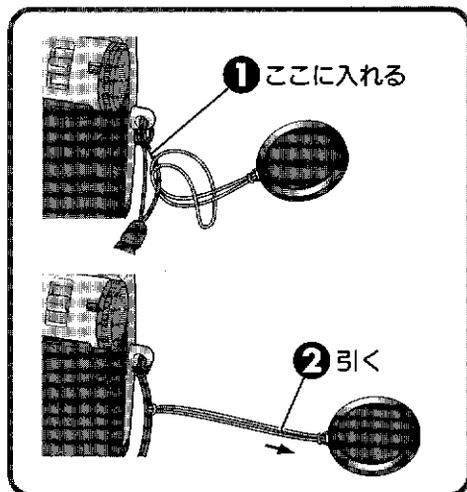
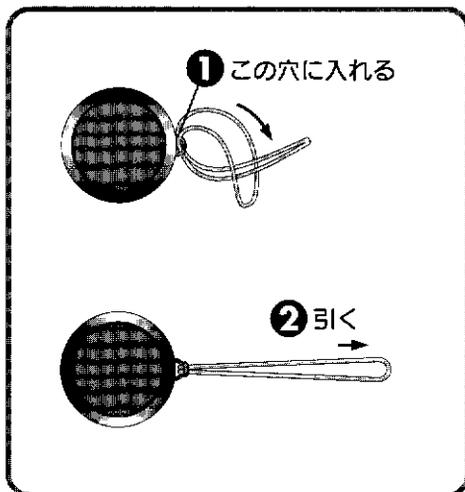
室内などで長時間撮影する時などは付属のACアダプターを使うことをおすすめします。変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。（☞99ページ）

❶ カバーをあける
❷ 入れる（DC）
コンセント
❹ 入れる
電源コード
電源ランプ
電源コードを入れると点灯します
DC OUT
ACアダプター（AA-V37）
DCコード
❸ 入れる（DC）

ご注意

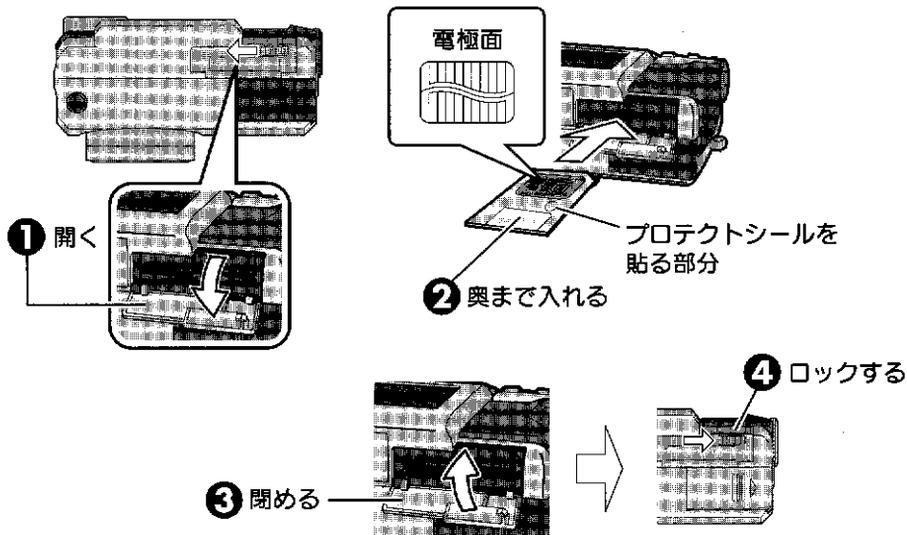
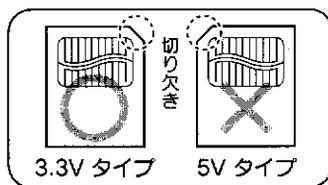
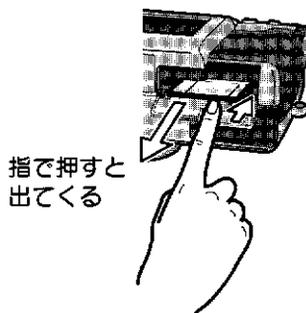
- 必ず専用のACアダプター（AA-V37）をお使いください。
  ビデオカメラ用や他商品のACアダプターを使用されますと、電圧の違いにより本機が故障する原因となります。

- **ACアダプターを使用すると**
  本機でメモリーカードのフォーマット（初期化）や画像を削除するとき、またパソコンに接続して画像の転送をするときなどに安心してご使用できます。

ハンドストラップを取り付ける

準備

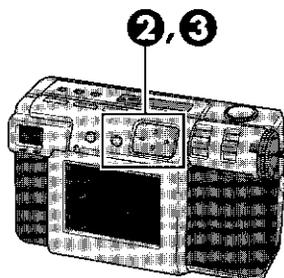
レンズキャップを取り付ける

- 電源を入れるときは、必ずレンズキャップを外してください。レンズ部分に力がかかり故障の原因となります。
- デジタルスチルカメラを使用されないときは、レンズキャップを必ずお付けください。
- レンズ面に指紋などを付けたときや高温多湿（海岸、山など）での撮影のあとには、必ず市販のレンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。
- 保管する場所はなるべく風通しの良い、ゴミやほこりの少ないところをお選びください。

メモリーカード(スマートメディア™)の出し入れ

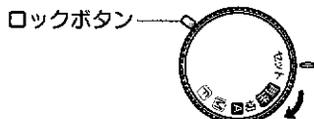
お買い上げ時は、スマートメディア™カードは付属されていませんので別売（3.3Vタイプ、右上に切り欠きのあるタイプ）をご購入ください。

スマートメディア™には切り欠きが右（3.3Vタイプ）にあるものと左（5Vタイプ）にあるものがあります。本機では右にあるものを使用します。（電極面を上にした時）

ご注意
- メモリーカードの抜差しをするときは、必ず電源ダイヤルを「切」にしてください。
- メモリーカードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。
- メモリーカードの電極面には直接手をふれないでください。

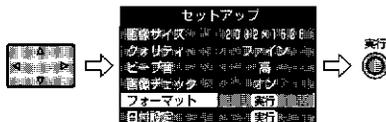
メモリーカードの初期化(フォーマット)

メモリーカードがフォーマットされていなかった場合、初期化する必要があります。初期化するとメモリーカード内の画像だけでなく、すべてのデータが消去されます。

❶ "メモリーカードがフォーマットされていません"が表示されたら電源ダイヤルで「セット」を選ぶ

● セットアップメニュー画面が表示されます。

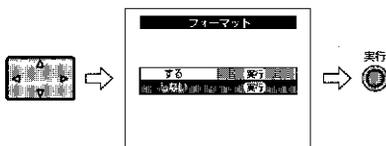
ロックボタン

●必ず専用のACアダプター(AA-V37)をご使用ください

❷ ▲／▼ボタンで「フォーマット」を選び、実行ボタンを押す

● フォーマットメニュー画面が表示されます。

❸ ▲／▼ボタンで「する」を選び、実行ボタンを押す

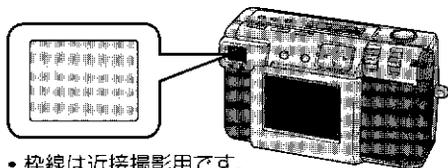
●「フォーマット中です」が表示されます。

● フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしないでください。

● フォーマットが始まり、メモリー内容が消去されます。終了すると、セットアップメニュー画面にもどります。

●画像やフレームをフォーマットした場合は削除されます。必要な画像やフレームは、パソコンなどに転送して保存してください。

ファインダーについて

本機は光学式ファインダーを装備しています。

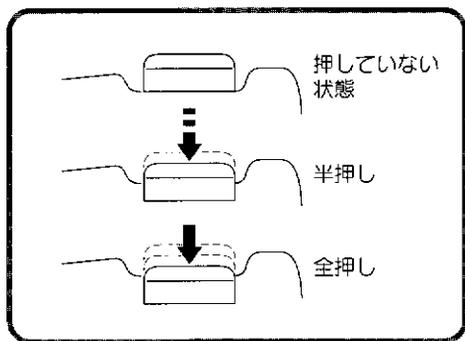
● ファインダー
ピントを合わせる被写体をこのファインダーに納めてシャッターボタンを押します。

• 枠線は近接撮影用です。

ご注意 ●近接撮影で実際に撮影される範囲は、ファインダーで見える範囲より下へずれます。被写体までの距離が近くなればなるほどずれは大きくなります。
大切な撮影の場合は、液晶画面で被写体の確認をおすすめします。

• 近接撮影するときは、ファインダーの枠内(斜線)に被写体を納めてください。

シャッターボタンについて

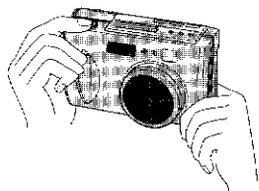
本機のシャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを軽く1段目まで押すと、撮影スタンバイLED(緑色)が点滅してカメラが自動的にピントを合わせます。
ピントが合うと撮影スタンバイLED(緑色)が点灯します。

シャッターボタンを1段目まで押すことを「半押し」といいます。「半押し」の状態から更に2段目まで押す「全押し」で撮影します。

●シャッターボタンは指が浮いた状態から押したり、強く押すと画面が斜めになったり、手ブレの原因になります。「半押し」の状態から軽く押して撮影してください。

●シャッターボタンの「半押し」を一度やめて、再び「半押し」にすると、カメラはオートフォーカスをやり直します。

●シャッターボタンを「半押し」せずに「全押し」すると、ピントを合わせたあとに自動的にシャッターが切れます。

上手に撮る姿勢

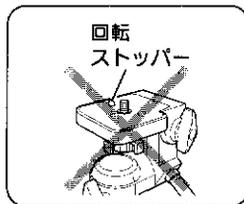
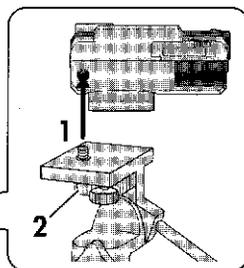
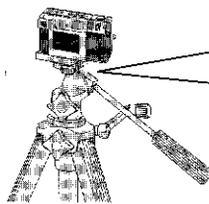
左手でレンズ左斜め下を押さえて固定し、右手でしっかり本機をささえます。次に被写体を探しカメラポジションを決めます。カメラを構える向きが被写体のアングルや背景を変化させます。被写体のどこの部分をどれくらいの大きさで撮影するのかズームなどを使って調節（フレーミングと言います）します。

基本

三脚の取り付け

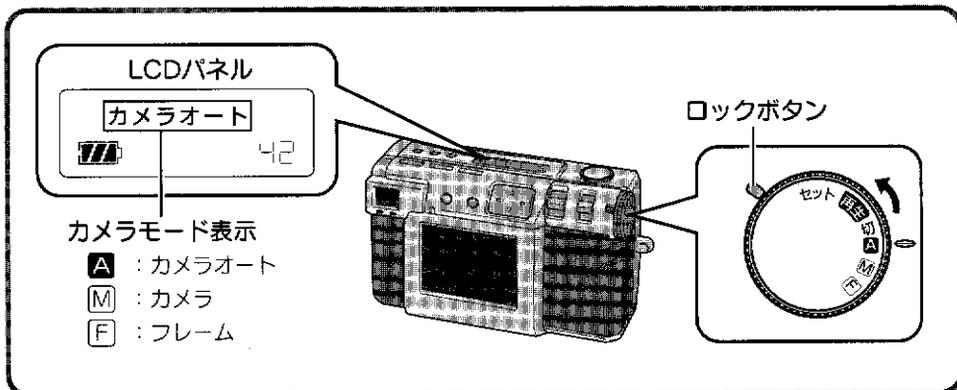
姿勢が不安定な撮影条件では､より手ブレを起こしやすくなりますので三脚のご使用をおすすめします。ピクセルシフト、ワイドレンジ、ノイズリダクションモードのときは、撮影時必ず三脚をご使用ください。

1. 三脚のネジと本体底面のネジ穴を合わせる

2. 三脚のネジを回して固定する
- ガタつかないように、ネジおよび足の長さも調節します。

- **低い所**
  安定した姿勢をとりづらいので、画面が傾いたり手ブレが起こりやすくなります。
- **暗い所**
  特にフラッシュを使用できない場所（博物館など）での撮影は、シャッタースピードが遅くなるので手ブレが起こりやすくなります。
- **遠くを望遠で撮る**
  遠くのものを大きく写し出すので､小さな動きでも大きなブレとなる可能性があります。
- **近くをアップで撮る（接写）**
  近くの物を拡大した状態で撮影するので、手や体のわずかな動きが手ブレにつながります。

- 本機には、回転ストッパーがないタイプの三脚をご使用ください。

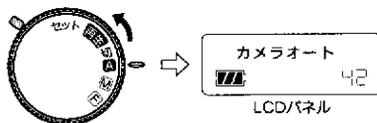
撮影モードを選ぶ

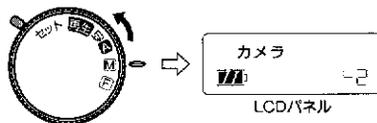
電源ダイヤルで３つの撮影モード「A」、「M」、「F」を切り換えます。

❶ 電源ダイヤルでモードを選ぶ

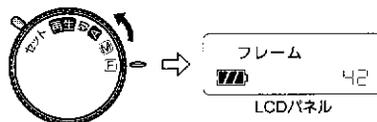
● ロックボタンを押しながら回します。

目的に応じて以下のように合わせます。

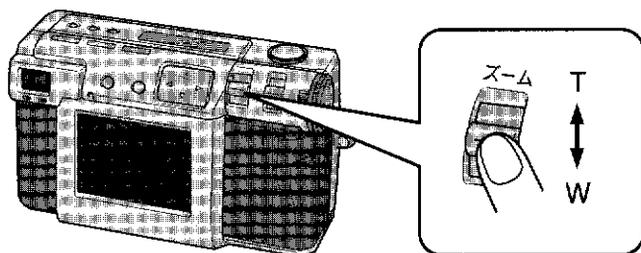
「A」オート（自動）で撮りたいとき

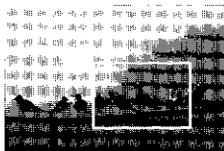
明るさ、シャッタースピード、ピント合わせ、ホワイトバランスのすべてをカメラが自動的に設定します。

「M」マニュアル（手動）で撮りたいとき

明るさ、シャッタースピード、ピント合わせ、ホワイトバランスを撮影用途に応じて手動で設定できます。

「F」フレーム付きで撮りたいとき

フレームを付けて撮りたいときに設定します。

ズームする

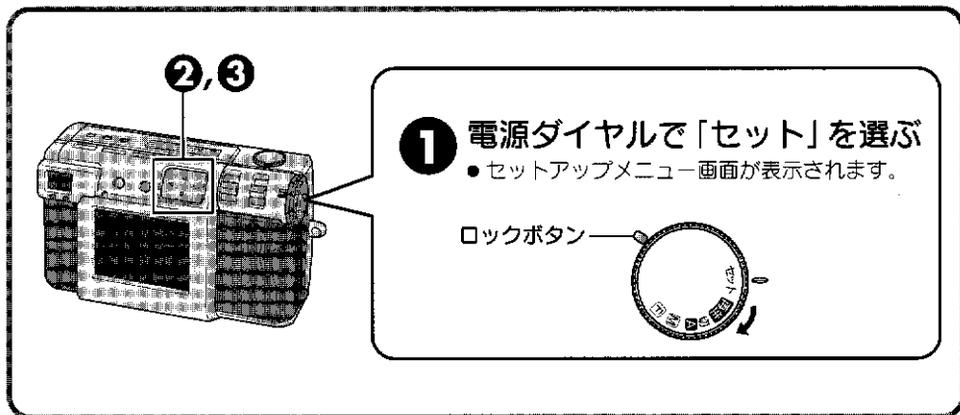
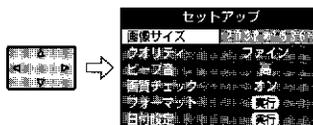
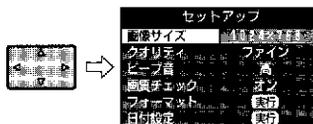
本機には35ミリカメラ換算で37ミリから86ミリの2.3倍ズーム機能があります。撮影する位置を変えることなく、広い範囲から遠くのアップまで撮影することができます。

基本

W側（ワイド）にすると
より広い範囲を撮影することができます。

T側（望遠）にすると
遠くのものを大きく撮ることができます。

- 電源ダイヤルがA、M、Fのときに使用できます。
- 本機はAF（オートフォーカス）/AE（自動露出）のセンサーポイントを「スポット」または「マルチ」に設定できます。ズームアップしたときに背面にピントが合うようなときは「スポット」に切り換えてください。(☞51ページ)

画像サイズを選ぶ

高解像度順に2032ピクセル×1536ピクセル(QXGA相当)、1024ピクセル×768ピクセル(XGA)、640ピクセル×480ピクセル(VGA)の3種類があります。目的によってお選びください。

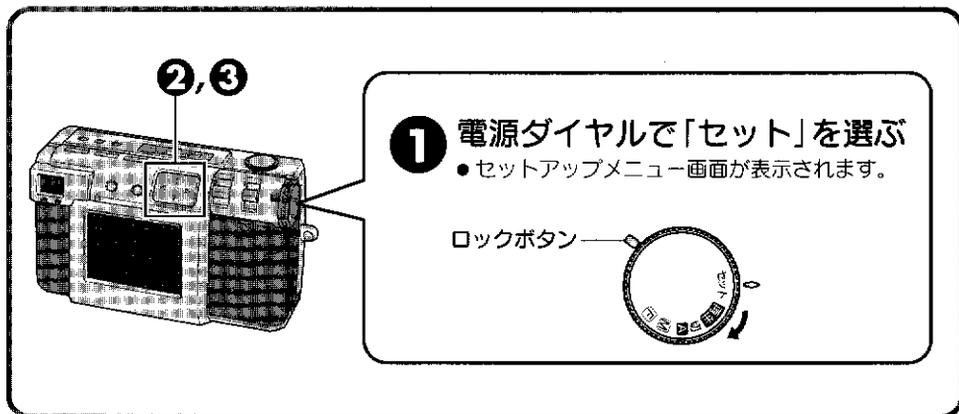
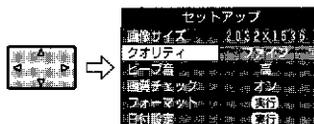
❶ 電源ダイヤルで「セット」を選ぶ
- セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ ▲／▼ボタンで「画像サイズ」を選ぶ

❸ ◀／▶ボタンで「2032×1536／1024×768／640×480」のモードを選ぶ
- 画像サイズが決定されます。

❹ 電源ダイヤルで「A」か「M」にする

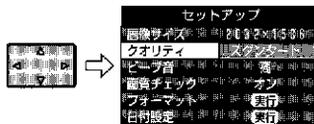
撮影枚数の目安
（8MB、16MBのメモリーカードを使用した場合）

画像サイズ	画　質	8MB	16MB
2032×1536	非圧縮	―	1
	ファイン	8	16
	スタンダード	10	20
1024×768	非圧縮	3	6
	ファイン	32	64
	スタンダード	43	86
640×480	非圧縮	8	16
	ファイン	65	130
	スタンダード	87	174

- 撮影枚数は、撮影する画像（サイズや画質など）の条件により異なります。

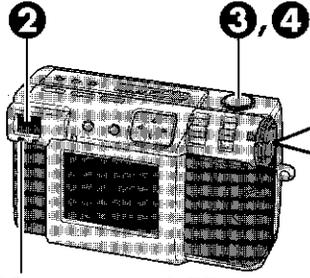
画質を選ぶ

目的に応じて画質を選ぶことができます。画質の良い順から、非圧縮、ファイン、スタンダードの３種類があります。

②▲／▼ボタンで「クオリティ」を選ぶ

③◀／▶ボタンで「ファイン／スタンダード／非圧縮」のモードを選ぶ

● 画質モードが決定されます。

④電源ダイヤルで「A」か「M」にする

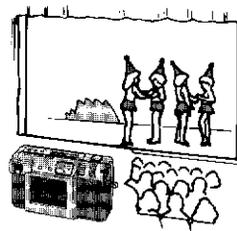
基本

オートで撮影する

ピントやシャッタースピード、明るさ、ホワイトバランスをカメラが自動的に調整するので簡単に撮影できます。

❶ 電源ダイヤルで「A」を選ぶ

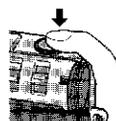
- 電源が入りカメラオートモードになります。

❷ 撮りたい被写体をファインダーで見る

- ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影ができます。

❸ シャッターボタンを半押しする

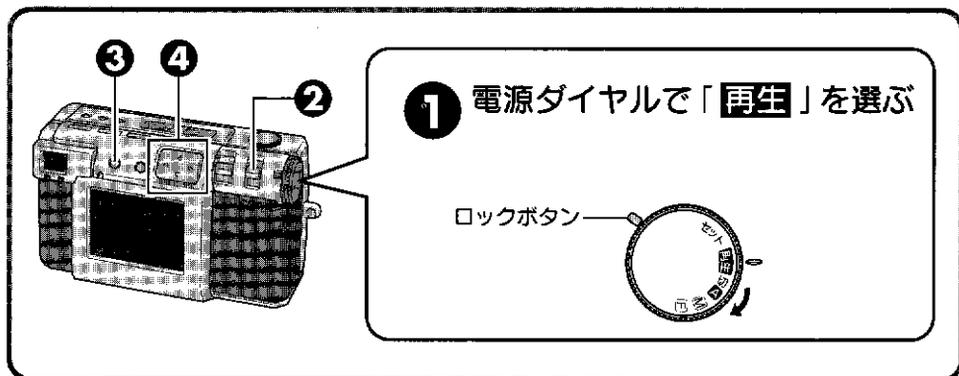
- ピント合わせを自動で行います。
- 撮影スタンバイLED（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。

❹ シャッターボタンを全押しする

- 画像がメモリーカードに記録されます。
- 記録が終わると、撮影スタンバイLED（緑）が消えます。

- 撮影スタンバイLEDの点滅中は液晶画面は静止画になります。

- **メモリーカードに書き込まれるまで時間がかかります。**

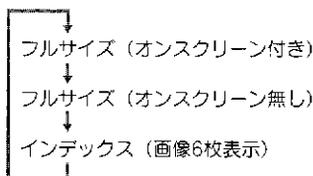
静止画を再生する(スチルプレイ)

撮影した画像は1枚ずつ、番号が付けられて保存されます。保存された画像は1枚ずつページをめくる様に順に見ることができます。

❷ モード切換レバーで「スチルプレイ」を選ぶ

- LCDパネルに「スチルプレイ」と表示されます。

❸ ディスプレイボタンで表示モードを選ぶ

- 押す度に

フルサイズ（オンスクリーン付き）
↓
フルサイズ（オンスクリーン無し）
↓
インデックス（画像6枚表示）

と変わります。

❹ ◀／▶ ボタンで見たい画像を選ぶ

- ◀／▶ ボタンを2秒以上押すと

▶ボタン:順送りで自動再生します。

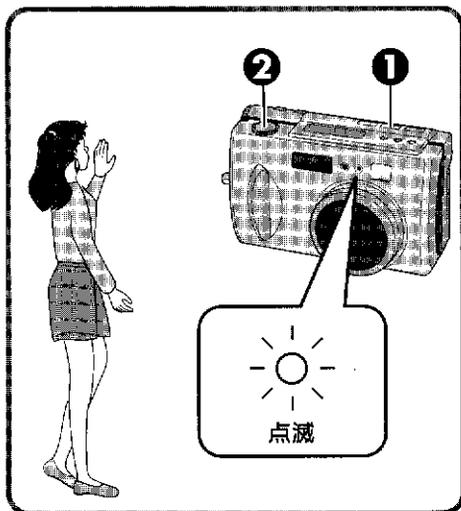
◀ボタン:逆送りで自動再生します。

やめる時は、再度▶または◀ボタンを押します。

ご注意

- このようなときは、画像の再生はできません。
  - パソコンや本機以外で処理された画像。
  - 2032×1536、1024×768、640×480以外の画像サイズ。
- メモリーカードに記録されている画像が多いときは、液晶画面に画像が出るまで時間がかかります。

セルフタイマーで撮影する

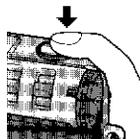
セルフタイマーはセットしてから１秒後または８秒後に自動的にシャッターが切れます。
自分自身を撮りたい場合や、手でシャッターボタンを押すとブレる心配のあるときに使用します。電源ダイヤルが「A、M、F」のときに使用できます。

❶ セルフタイマーボタンを押して時間をセットする

●押す度に

オフ → 8秒「⏲」→ 1秒「1⏲」

と変わります。

❷ シャッターボタンを全押しする

● セルフタイマーランプとLCDパネルの⏲マークが点滅を始め、1秒または8秒後にシャッターが切れます。

●8秒設定のときは、シャッターが切れるまでの時間が、残り3秒以内になるとセルフタイマーランプの点滅が早くなります。
●セルフタイマーを途中で解除したいときは、再度セルフタイマーボタンを押します。
●ピント合わせはシャッターボタンを「半押し」したときにおこないます。

フラッシュで撮影する

フラッシュ撮影したいときに使用します。必要に応じて設定を変更してください。

フラッシュのモードは4つあります。

オート........自動的にフラッシュを発光させるときに選択します。

強制発光....フラッシュを強制的に発光させるときに選択します。

赤目軽減....フラッシュが光ったときに人の瞳が赤くなるのをおさえるときに選択します。強制発光モードになります。

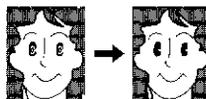
切..............フラッシュを発光させたくないときに選択します。シャッタースピードが遅くなりますのでブレ防止に三脚を使用してください。

❶ 電源ダイヤルで「A、M、F」を選ぶ

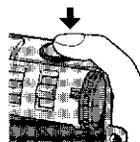
❷ フラッシュボタンを押してフラッシュモードを選ぶ

- LCDパネルに「⚡AT」と表示されます。
- 押す度に

切 → オート「⚡AT」→ 強制発光「⚡」→ 赤目軽減「⚡⚡」→ 切

と変わります。

赤目軽減

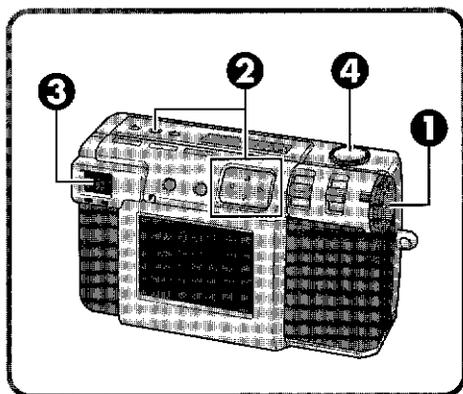
- 充電を開始してフラッシュスタンバイLED（赤色）が点滅します。点灯すると充電完了です。

❸ シャッターボタンを全押しする

- フラッシュが発光し、フラッシュスタンバイLED（赤色）が点滅します。
- 赤目軽減モードのときはフラッシュが2度発光します。1度目は赤目を軽減するための発光です。2度目の発光で実際の画像を記録します。

ご注意

- **液晶画面に出る画像は暗い感じになりますが、記録された画像は問題ありません。**
- **フラッシュ設定時は、絞りがF2.8/3.8になります。**
- **フラッシュ撮影時、絞り優先AEと露出補正は使用できません。**
- **フラッシュの充電中はシャッターボタンを押さないでください。**

ピントを合わせる

ピントを手動で合わせることができます。

❶ 電源ダイヤルで「M」、「F」を選ぶ

❷ フォーカスボタンを押して、3秒以内に◀／▶ボタン（左右）を押す

- ◀／▶ボタンを押す度に

AF-S .. **オートフォーカス・シングル(1回)**
シャッターボタンを「半押し」したときに、自動的にピントを合わせます。

MF ... **マニュアルフォーカス**
ピントを手動（▲／▼ボタン）で合わせます。
・▲（上ボタン） 無限遠方向
・▼（下ボタン） 至近方向

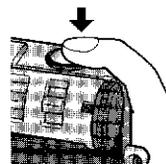
2.4m .. 2.4mの距離に焦点を合わせます。

∞ ..... 無限遠に焦点を合わせます。

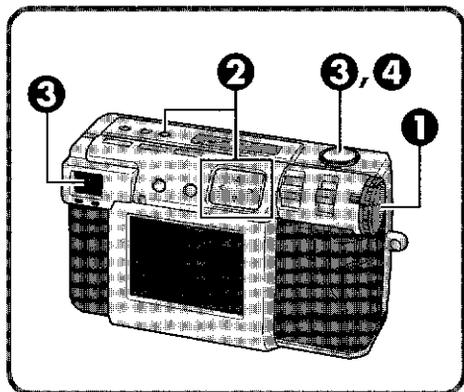
AF-C . **オートフォーカス・コンティニュアス（連続）**
シャッターボタンを「半押し」しているあいだ中、自動的にピントを合わせ続けます。

❸ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを半押しする

- ディスプレイボタンを押すと液晶画面を見て撮影できます。

❹ シャッターボタンを全押しする

- **こんなときに手動でピントを合わせます。**
  - ・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
  - ・金網などの障害物が被写体との間にあるとき
  - ・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
  - ・蛍光灯などのチラツキのある光源の下で撮影するときや暗いとき

絞りを手動で合わせる(絞り優先AE)

被写界深度の調整に便利です。また、シャッタースピードを早くしたり、遅くしたりするときにも使えます。

❶ 電源ダイヤルで「M、F」を選ぶ

❷ アイリスボタンを押して、3秒以内に◀／▶ボタンを押す

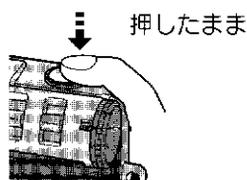
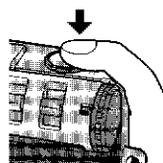
●◀／▶ボタンを押す度に

プログラム ←→ F2.8/3.8
↕ ↕
F11 ←→ F8 ←→ F5.6

と変わります。

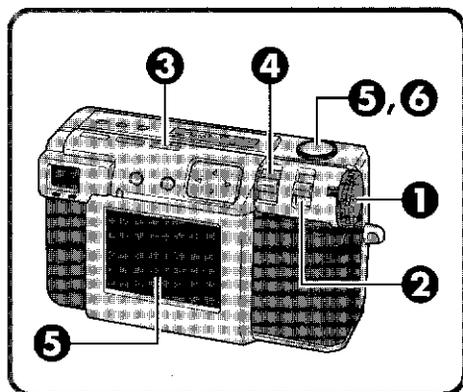
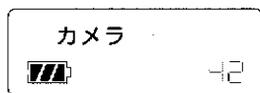
数字が小さいときはシャッターが速く、大きいときには遅くなります。また、数字が大きくなるほど、被写界深度が深くなります。
プログラムは絞り値とシャッター速度を自動で計算して設定します。

❸ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを半押しする

- 撮影スタンバイLED（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。
- ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

❹ シャッターボタンを全押しする

●**被写界深度とは**
一般にレンズにはある点にピントを合わせるとその位置の前後の一定範囲もピントが合って見えます。この範囲を被写界深度と呼びます。被写界深度は撮影時に背景のピント合わせをコントロールするときに使います。

近接撮影する（マクロ）

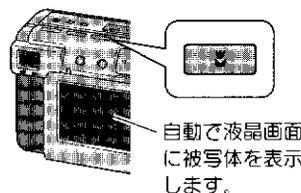
被写体までの距離が約2cm～50cm以内の撮影をするときは、マクロモードにして撮影します。
昆虫や植物をアップして撮影するときに適しています。

❶ 電源ダイヤルで「Ⓐ、Ⓜ、Ⓕ」を選ぶ

❷ モード切換レバーで、「カメラ」を選ぶ

- LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

LCDパネル

- 「Ⓐ、Ⓕ」を選ぶとLCDパネルに「カメラオート、フレーム」と表示されます。

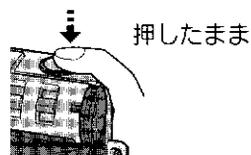
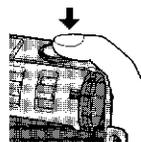
❸ マクロボタンを押す

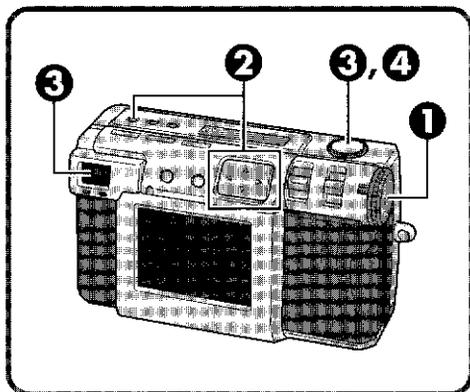
- 押す度に
  オフ ←→ オン と変化します。

- オンするとズームは、ワイド側に移動します。

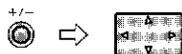
❹ ズームレバーで被写体の大きさを調節する

- ズームの移動範囲は制限されます。

❺ 液晶画面を見てシャッターボタンを半押しする

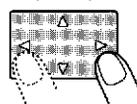
- 撮影スタンバイLED（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。

❻ シャッターボタンを全押しする

明るさを補正して撮影する（露出補正）

被写体が白、黒、赤などの場合に暗くなってしまったりする時があります。質感などを出したい時には露出補正（エクスポージャ）が必要になります。本機では±2絞り分0.5EV（エクスポージャバリュー）刻みで調節できます。

❶ 電源ダイヤルで「M、F」を選ぶ

❷ ＋／－（露出補正）ボタンを押して、3秒以内に◀／▶ボタンを押す

●◀／▶ボタンを押す度に

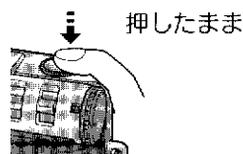
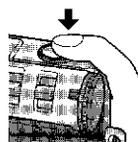
−2.0 ← −1.5 ← −1.0 ← −0.5 ← ±0
暗くなる ←――――――― •

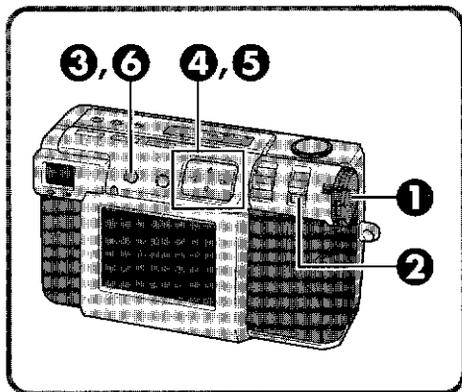
±0 → +0.5 → +1.0 → +1.5 → +2.0
• ―――――――→ 明るくなる

の順に変わります。

❸ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを半押しする

- 撮影スタンバイLED（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。
- ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

❹ シャッターボタンを全押しする

応用

ホワイトバランスを調節する

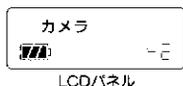
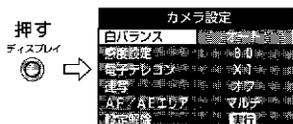
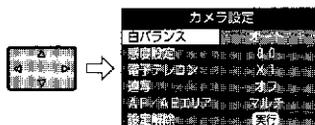
画像が緑がかっていたり、赤み、青みを帯びているとき、ホワイトバランスを調節します。画像の色が特に不自然でなければ「オート」を選択します。

6つのモードがあります。

- **オート**…………自動的にホワイトバランスを調節
- **☀（晴）**…………晴れた日に屋外で撮影するとき
- **（曇）**…………曇りの日や日陰で撮影するとき
- **（電球）**………ビデオライトなどで撮影するとき
- **ワンタッチ**……あらかじめ被写体に合わせて設定しておいたホワイトバランスで撮影したいとき（☞47ページ）
- **（夜景）**………夜景などを撮影するとき

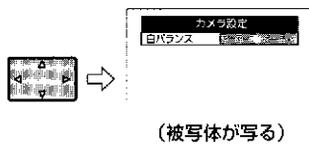
❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「カメラ」を選ぶ

- LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

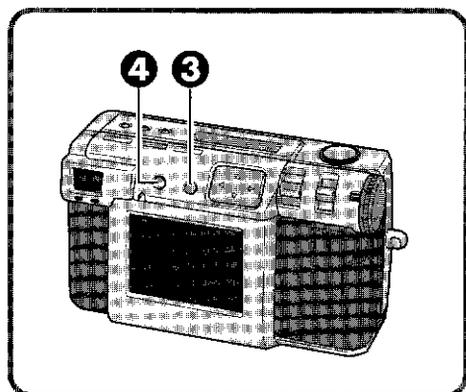
LCDパネル

❸ カメラ設定メニューが表示されるまでディスプレイボタンを押す

❹ ▲／▼ボタンで「白バランス」を選ぶ

❺ ▶ボタンを1回押し、◀／▶ボタンで「晴／曇／電球／夜景／オート」から選ぶ

- 被写体の色合いがより好ましくなるモードを選びます。

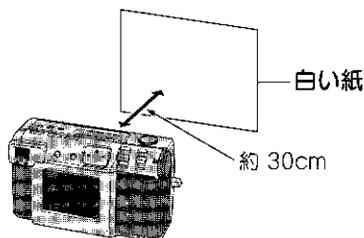
（被写体が写る）

❻ ディスプレイボタンでメニュー画を消す

MEMO
- 夜景のモードではピントが合いにくいので手動で合わせてください。（☞42ページ）
- 夜景のシャッタースピード（1/750秒〜1秒）が自動的に設定されます。
- 室内から屋外などに移動すると、色が合うまで時間がかかることがあります。

お好みのホワイトバランスに調節する(マニュアルホワイトバランス)

あらかじめ用意されたホワイトバランス「晴」、「曇」、「電球」、「夜景」または「オート」のいずれに合わせても自然な色の画像にならないとき、より最適な色になるよう手動でホワイトバランスを調節します。

❶ 前ページ（☞46ページ）の手順❶から❺で「ワンタッチ」を選ぶ

❷ レンズの前約30センチメートルの所に白い紙を置く

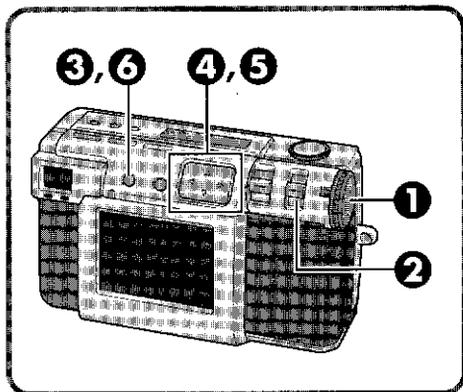
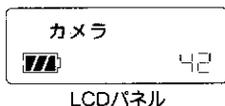
- 白い紙が画面いっぱいに写るようにします。

❸ 実行ボタンを撮影スタンバイLED(緑)が点滅するまで押す

- LED（緑）が消灯したら完了です。
- 実行ボタンを再度押して、調節をやり直すことができます。

❹ ディスプレイボタンでメニュー画を消す

- **調節した色のバランスは**
  「ワンタッチ」に別のホワイトバランスを調節するまで記憶されています。

感度設定を変える

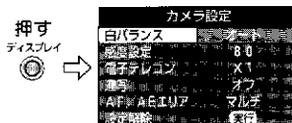
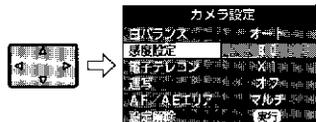
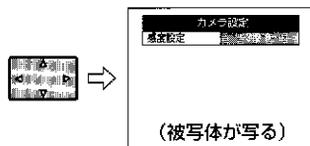
フラッシュを使用できない場所や暗い場所での撮影に感度設定を変えることができます。

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「カメラ」を選ぶ

●LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

LCDパネル

❸ カメラ設定メニューが表示されるまでディスプレイボタンを押す

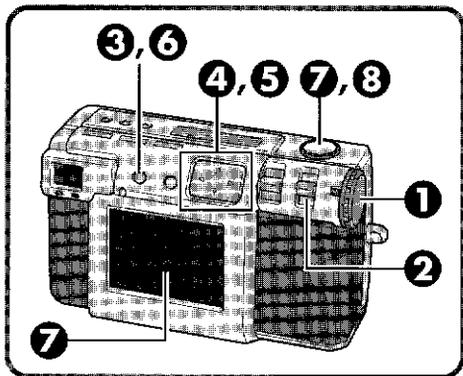
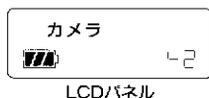
●カメラ設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲／▼ボタンで「感度設定」を選ぶ

❺ ▶ボタンを1回押し、◀／▶ボタンで「80／160／320」から選ぶ

●感度設定が決定されます。

❻ ディスプレイボタンでメニュー画を消す

●感度設定値は、ISO準拠です。

●感度設定を変えて撮影すると、液晶画面のノイズが多くなることがあります。

ズームの倍率を変えて撮影する(電子テレコン)

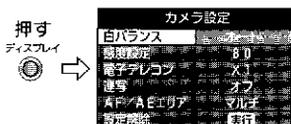
画像サイズによっては現在の画質をそこなう事なく拡大できます。画像サイズが大きいとズーム倍率を変えられない場合がありますので画像サイズを小さくしてズーム倍率を変えてください。(☞36ページ)

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「カメラ」を選ぶ

●LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

LCDパネル

❸ カメラ設定メニューが表示されるまでディスプレイボタンを押す

● カメラ設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲/▼ボタンで「電子テレコン」を選ぶ

❺ ▶ボタンを1回押し、◀/▶ボタンで「×2、×3.2」を選ぶ

● 画像サイズにより選択できるズーム倍率が変わります。

2032 × 1536 ：1倍
1024 × 768 ：1倍/2倍
640 × 480 ：1倍/2倍/3.2倍

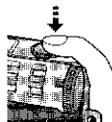
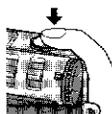
(被写体が写る)

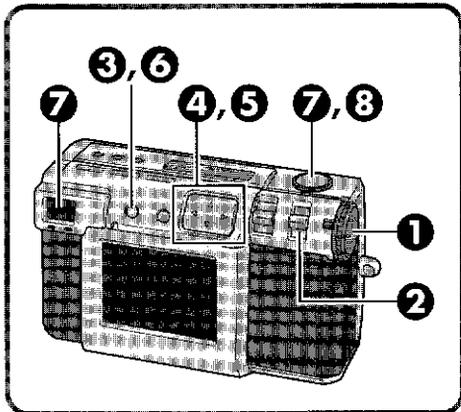
❻ ディスプレイボタンでメニュー画を消す

❼ 液晶画面を見てシャッターボタンを半押しする

● 撮影スタンバイLED(緑)が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。

❽ シャッターボタンを全押しする

応用

連続して撮影する(連写)

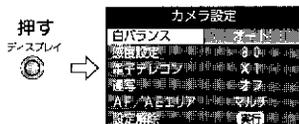
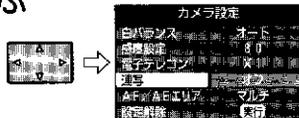
被写体を連続で2枚撮影することができます。

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「カメラ」を選ぶ

- LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

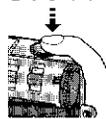
LCDパネル

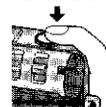
❸ カメラ設定メニューが表示されるまでディスプレイボタンを押す

- カメラ設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲／▼ボタンで「連写」を選ぶ

❺ ◀／▶ボタンで「オン」を選ぶ

❻ ディスプレイボタンでメニュー画を消す

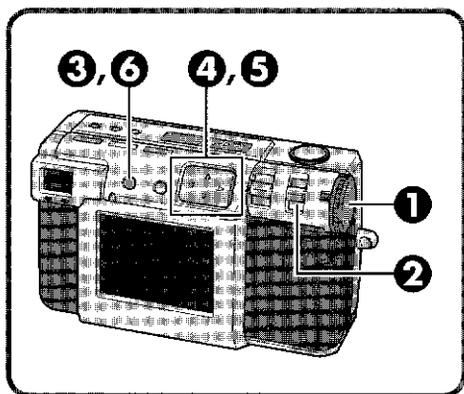
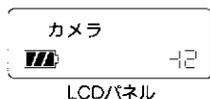
❼ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを半押しする

- 撮影スタンバイLED（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。
- ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

❽ シャッターボタンを1秒以上押す

- 1秒間に2枚撮影します。

- フラッシュ設定しているときは、最初の1回のみ発光します。
- 暗い場所（室内）などの撮影では、画像が暗く写ります。

- **非圧縮の画質を選ぶと連写はできません。**

AF(自動焦点)/AE(自動露出)のエリアを変える

本機は、初期状態(お買い上げ時)で「マルチ」に設定されています。自分の合わせたいポイントに焦点が合わない場合は「スポット」に設定を変えて撮影します。

❶ 電源ダイヤルで「Ⓜ」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「カメラ」を選ぶ

● LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

LCDパネル

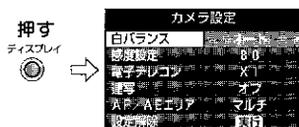
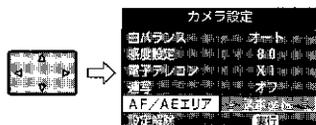
❸ カメラ設定メニューが表示されるまでディスプレイボタンを押す

● カメラ設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲/▼ボタンで「AF/AEエリア」を選ぶ

カメラ設定
白バランス オート
感度設定 80
電子テレコン X1
連写 オフ
AF/AEエリア
設定解除 実行

❺ ◀/▶ボタンで「スポット」を選ぶ

カメラ設定
白バランス オート
感度設定 80
電子テレコン X1
連写 オフ
AF/AEエリア
設定解除 実行

❻ ディスプレイボタンでメニュー画面を消す

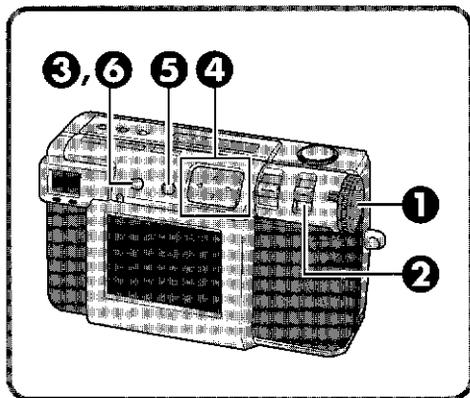
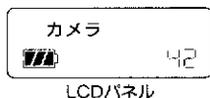
● マルチとは
場面を何分割化してそれぞれの部分を測光することによってできるだけ正確な露出を決定する方式です。

● スポットとは
画面の狭い中央の一部分を測光する方式です。スキー場での人物、舞台で照明の当たった人物など、写したい被写体とその周囲の明暗差が多い場合に使用します。

・スポット撮影するときは、[ ] 表示が出るまでディスプレイボタンを押してください。

応用

カメラ設定を初期状態に戻す

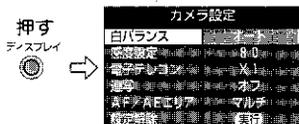
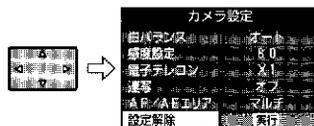
カメラ設定を初期状態（お買い上げ時）に戻して撮影するときに行います。
セットアップメニューでの設定は戻りません。

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

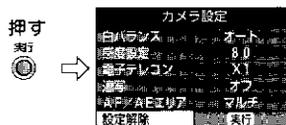
❷ モード切換レバーで「カメラ」を選ぶ

● LCDパネルに「カメラ」と表示されます。

LCDパネル

❸ カメラ設定メニューが表示されるまでディスプレイボタンを押す

● カメラ設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲／▼ボタンで「設定解除」を選ぶ

❺ 実行ボタンを押す

● カメラ設定メニューが初期状態に戻ります。

❻ ディスプレイボタンでメニュー画を消す

フレームを付けて撮影する

フレームに被写体を重ねて撮影することができます。

●次の設定をしてください。(☞36、37ページ)
画像サイズ .....「2032 × 1536」
画質 ....「ファイン」または「スタンダード」

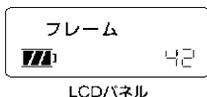
❶ 本機にフレームを記録したメモリーカードを入れる

● ☞30ページをご覧ください。

❷ 電源ダイヤルで「F」または「M」を選ぶ

● Fのときは、手順❹へ進みます。

❸ Mのときは、モード切換レバーで「フレーム」を選ぶ

● LCDパネルに「フレーム」と表示されます。

LCDパネル

● 自動で液晶画面に、フレームを表示します。

❹ ◀／▶ボタンで「フレーム」を選び、実行ボタンを押す

● インデックス3画面の表示となります。
● 再度フレームを選びたいときは、実行ボタンを押します。
● 作成画像はフレームと同じ画像サイズに自動で合わせます。

❺ 液晶画面を見てシャッターボタンを半押しする

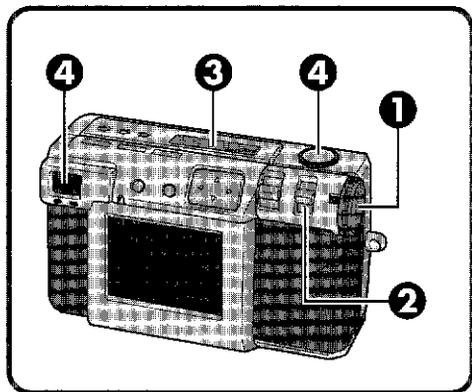
● 被写体をフレーム枠内に納めてください。
● 撮影スタンバイLED（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影できます。

❻ シャッターボタンを全押しする

●メモリーカードにフレームが無いと、液晶画面に「表示できる画像がありません」と表示されます。
●セルフタイマー／マクロ／絞り優先AE／ピントを合わせる／露出補正（エクスポージャ）が設定できます。（☞40～45ページ）
●白バランス／感度設定／AF/AEエリア／設定解除が設定できます。（☞46、48、51、52ページ）

応用

高解像度で撮影する(ピクセルシフト)

CCDの画素を1画素分縦にずれた画像を2枚連続撮影することによって解像度を良くすることができます。手ブレを起こしやすいので三脚で固定し静止した被写体をセルフタイマーを使って撮影します。

●16 MB以上のメモリーカードで撮影してください。（非圧縮の撮影時）

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「ピクセルシフト」を選ぶ

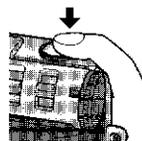
● LCDパネルに「ピクセルシフト」と表示されます。

LCDパネル

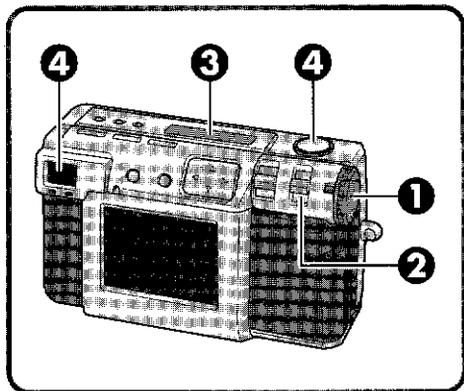
❸ セルフタイマーが「1秒」になっていることを確認する

LCDパネル

❹ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを全押しする

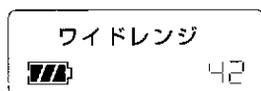
● ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。
● 撮影が終了すると、撮影スタンバイLED（緑色）が消えます。

ご注意
●2回の露光を行うため撮影が完了するまでの数秒の間、カメラ本体を固定してください。
●画像サイズは、自動的に2032×1536になります。

明暗差をなくして撮影する(ワイドレンジ)

明暗差の激しい被写体などを露光の異なる画像で合成して、明るさのダイナミックレンジを広げることができます。手ブレを起こしやすいので三脚で固定し静止した被写体をセルフタイマーを使って撮影します。

●16 MB以上のメモリーカードで撮影してください。(非圧縮の撮影時)

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「ワイドレンジ」を選ぶ

● LCDパネルに「ワイドレンジ」と表示されます。

LCDパネル

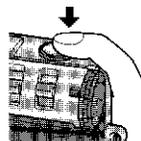
❸ セルフタイマーが、「1秒」になっていることを確認する

LCDパネル

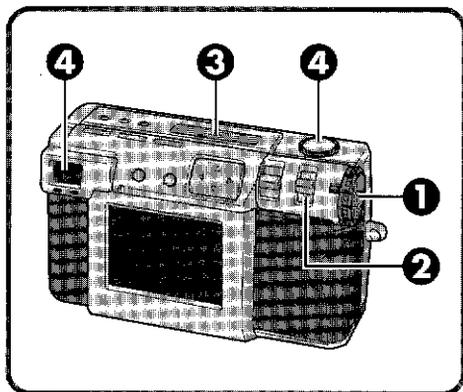
❹ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを全押しする

● ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

● 撮影が終了すると、撮影スタンバイLED(緑色)が消えます。

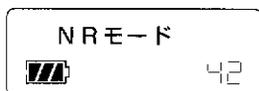
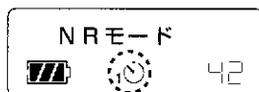
ご注意

●2 回の露光を行うため撮影が完了するまでの数秒の間、カメラ本体を固定してください。

同じ画像を重ねて静止画を撮影する(NRモード)

同じ画像を何枚か重ねて電子ノイズをカットして画像を撮影します。暗いところにある花の撮影などにも適しています。手ブレを起こしやすいので三脚で固定し静止した被写体をセルフタイマーを使って撮影します。

●16 MB以上のメモリーカードで撮影してください。（非圧縮の撮影時）

❶ 電源ダイヤルで「M」を選ぶ

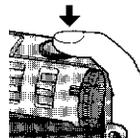
❷ モード切換レバーで「NRモード」を選ぶ

● LCDパネルに「NRモード」と表示されます。

LCDパネル

❸ セルフタイマーが、「1秒」になっていることを確認する

LCDパネル

❹ ファインダーをのぞいてシャッターボタンを全押しする

● ディスプレイボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

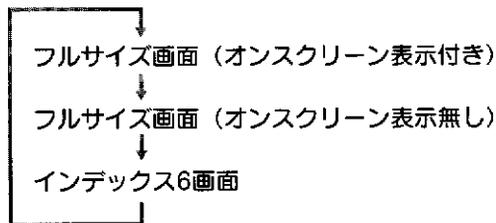
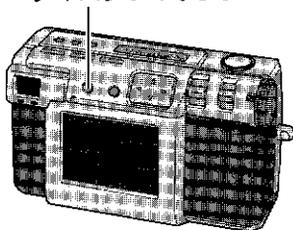
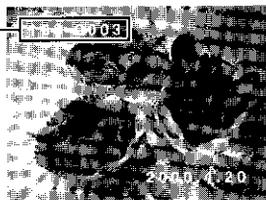
● 撮影が終了すると、撮影スタンバイLED（緑色）が消えます。

●8 回の露光を行うため撮影が完了するまでの数秒の間、カメラ本体を固定してください。

いろいろな再生

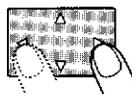
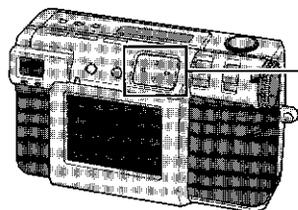
静止画の再生表示について

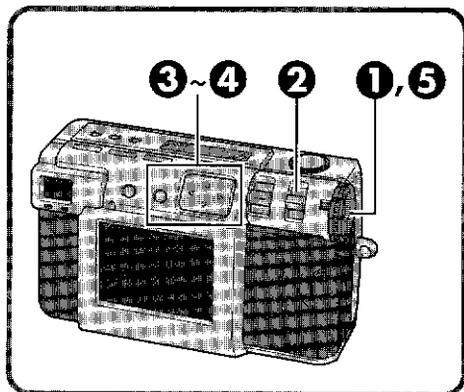
再生表示はディスプレイボタンを押して表示モードを切り換えます。

ディスプレイボタンを押すごとに

フルサイズ画面（オンスクリーン表示付き）
↓
フルサイズ画面（オンスクリーン表示無し）
↓
インデックス6画面

と変わります。

応用

静止画のオートプレイ再生について

再生モードの時に◀／▶ボタンを２秒以上押すと自動再生モードになります。
やめるときは、再度同じボタンを押します。押されたときの画像を表示して止まります。

画像の削除を防止する（スチルプロテクト）

必要な画像にプロテクト（削除防止）をかけておくことができます。必要な画像を誤って削除することが防げます。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

● 再生画像が液晶画面に表示されます。

❷ モード切換レバーで「Sプロテクト」を選ぶ

● スチルプロテクトメニュー画面が表示されます。

❸ ▲／▼ボタンで「表示画像」を選び、実行ボタンを押す

● 全画面をプロテクトしたいときは、「全部」を選び、実行ボタンを押してください。「戻る」を選んで実行ボタンを押したあと、手順❺に進みます。

● 画面を選択してプロテクトしたいときは、「選択」を選んで実行ボタンを押してください。▲／▼／◀／▶ボタンで画像を選んで実行ボタンを押します。「戻る」を選んで実行ボタンを押したあと、手順❺に進みます。

❹ ▲／▼ボタンで「設定/解除」を選び、実行ボタンを押す

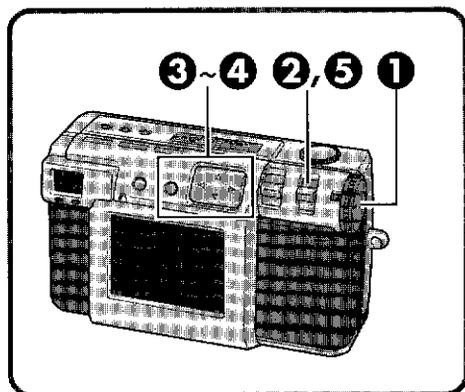
● 🔒（プロテクト表示）が表示されます。

● プロテクト解除したいときは、手順❶～❸を繰り返して再度実行ボタンを押すと表示が消えて、プロテクトが解除されます。

❺ 電源ダイヤルで「A」か「M」にする

画像をプロテクトしていてもフォーマットした場合は削除されます。必要な画像はパソコンなどに転送して保存してください。

画像を削除する(スチル削除)

撮影した画像を削除します。「表示画像削除」「全部削除」「選択削除」があります。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

● 再生画像が液晶画面に表示されます。

❷ モード切換レバーで「スチルサクジョ」を選ぶ

● スチル削除メニュー画面が表示されます。

❸ ▲/▼ボタンで「表示画像」を選び、実行ボタンを押す

● 全画面を削除したいときは、「全部」を選び、実行ボタンを押してください。「終了」を選んで実行ボタンを押したあと、手順❹を繰り返します。

● 画面を選択して削除したいときは、「選択」を選んで実行ボタンを押してください。▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選んで実行ボタンを押します。「終了」を選んで実行ボタンを押したあと、手順❹を繰り返します。

●「全部」または「選択」を選ぶと、🗑(削除マーク)が表示されます。

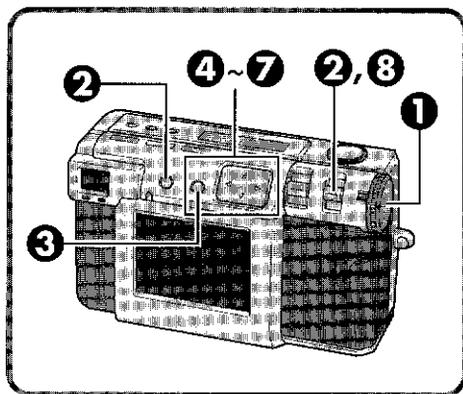
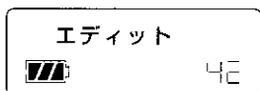
❹ ▲/▼ボタンで「削除」を選び、実行ボタンを押す

❺ モード切換レバーで「スチルプレイ」を選び、削除されたことを確認する(☞39ページ)

● プロテクトされている画像も不要なときは、プロテクトを解除してください。

● 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。必ず専用のACアダプター(AA-V37)をお使いください。

画像に特殊効果をつける(エディット)

画像に白黒やセピア色などの特殊効果を付けることができます。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「エディット」を選ぶ

- LCDパネルに「エディット」と表示されます。

LCDパネル

- 画像を選びたいときは、ディスプレイボタンを押します。インデックス6画面の表示となり、▲／▼／◀／▶ボタンで画像を選び、ディスプレイボタンを押します。

❸ 実行ボタンを押す

- エディット設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲／▼ボタンで「特殊効果」を選ぶ

❺ ◀／▶ボタンで「なし／白黒／セピア／ネガ」から選ぶ

- ◀／▶ボタンを押すごとに

なし　：特殊効果なし

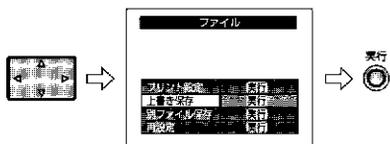
白黒　：カラーから白黒に変換します。

セピア：セピア色にして古い写真のような効果を出します。

ネガ　：ネガフィルムのような効果を出します。

❻「次へ」を選び、実行ボタンを押す

● 「エディット中です」と表示されたあと、ファイルメニュー画面が表示されます。

❼▲／▼ボタンで「上書き保存／別ファイル保存」から選び、実行ボタンを押す

❽モード切換レバーで「スチルプレイ」を選び、保存されたことを確認する

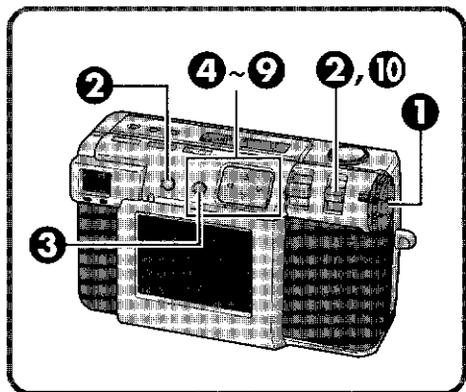
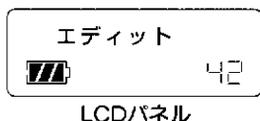
（☞39ページ）

● 日付またはカレンダーを付けたいときは、☞62～65ページをご覧ください。

● 「プリント設定」を選んだときは、☞68ページをご覧ください。

● メモリーカードの残容量が少ないときは、「別ファイル保存」はできません。

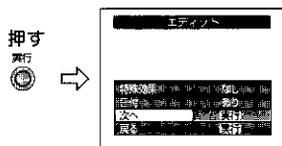
日付を入れる

再生画像に日付を付けるときや、専用プリンターで印刷するときに日付を入れることができます。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「エディット」を選ぶ

- LCDパネルに「エディット」と表示されます。

LCDパネル

- 画像を選びたいときは、ディスプレイボタンを押します。インデックス6画面の表示となり、▲／▼／◀／▶ボタンで画像を選び、ディスプレイボタンを押します。

❸ 実行ボタンを押す

- エディット設定メニュー画面が表示されます。

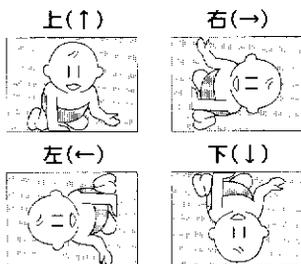
❹ ▲／▼ボタンで「日付」を選び、◀／▶ボタンで「あり」を選ぶ

❺ ▲／▼ボタンで「次へ」を選び、実行ボタンを押す

- 日付表示メニュー画面が表示されます。
- 手順❹でカレンダーを選ぶとカレンダーメニューが表示されます。

❻ ▲／▼ボタンで「画像上方向」を選び、◀／▶ボタンで画像の向きを設定する

●◀／▶ボタンを押すごとに

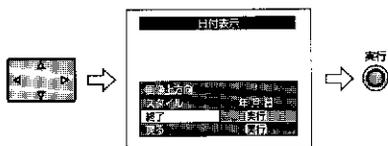
上方向(↑)↔右方向(→)↔下方向(↓)↔左方向(←)

と変わります。

●再生画像の上方向を決めてください。

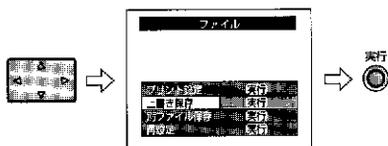
❼ ▲／▼ボタンで「スタイル」を選び、◀／▶ボタンで「日付のスタイル」を設定する

●◀／▶ボタンを押すごとに

年月日↔月日年↔日月年

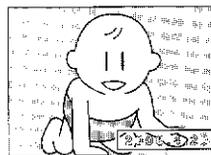
と変わります。

❽ ▲／▼ボタンで「終了」を選び、実行ボタンを押す

●「エディット中です」が表示されたあと、ファイルメニュー画面が表示されます。

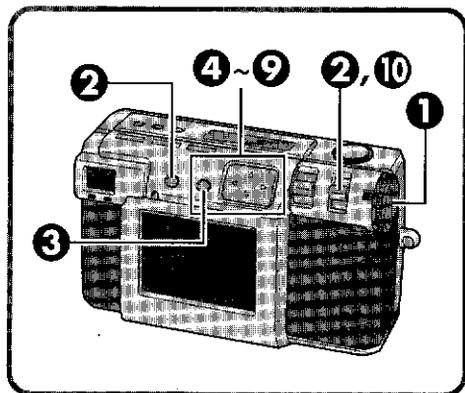
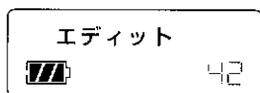
❾ ▲／▼ボタンで「上書き保存／別ファイル保存」から選び、実行ボタンを押す

❿ モード切換レバーで「スチルプレイ」を選び、保存されたことを確認する

(☞39ページ)

●カレンダーを付けたいときは、☞64ページをご覧ください。

●「プリント設定」を選んだときは、☞68ページをご覧ください。

日付表示位置

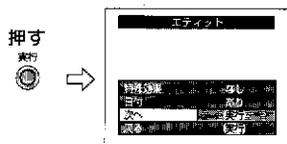
カレンダーを入れる

再生画像にカレンダーを付けるときや、専用プリンターで印刷するときにカレンダーを入れることができます。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「エディット」を選ぶ

- LCDパネルに「エディット」と表示されます。

LCDパネル

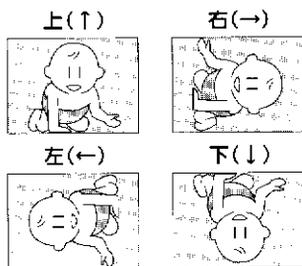
- 画像を選びたいときは、ディスプレイボタンを押します。インデックス6画面の表示となり、▲／▼／◀／▶ボタンで画像を選び、ディスプレイボタンを押します。

❸ 実行ボタンを押す

- エディット設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲／▼ボタンで「日付」を選び、◀／▶ボタンで「カレンダー」を選ぶ

❺ ▲／▼ボタンで「次へ」を選び、実行ボタンを押す

- カレンダー表示メニュー画面が表示されます。

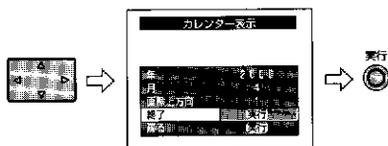
❻ ▲／▼ボタンで「年または月」を選び、◀／▶ボタンで年、月の数字を設定する

❼ ▲／▼ボタンで「画像上方向」を選び、◀／▶ボタンで画像の向きを設定する

●◀／▶ボタンを押すごとに

上方向(↑)↔右方向(→)↔下方向(↓)↔左方向(←)

と変わります。

● 再生画像の上方向を決めてください。

❽ ▲／▼ボタンで「終了」を選び、実行ボタンを押す

●「エディット中です」が表示されたあと、ファイルメニュー画面が表示されます。

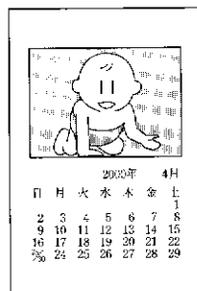
❾ ▲／▼ボタンで上書き保存／別ファイル保存から選び、実行ボタンを押す

❿ モード切換レバーで「スチルプレイ」を選び、保存されたことを確認する

(☞39ページ)

● 日付を付けたいときは、☞62ページをご覧ください。

●「プリント設定」を選んだときは、☞68ページをご覧ください。

例) 画像上方向でカレンダーを作成した場合

●液晶画面ではカレンダーの一部が欠けて見えることがありますが、正常に保存されています。

応用

便利な機能

テレビにつなぐ

撮影した画像をテレビで見ることができます。

テレビ

映像入力
端子へ

映像コード（付属）

ビデオ出力
端子へ

ビデオ

カバーを
あける

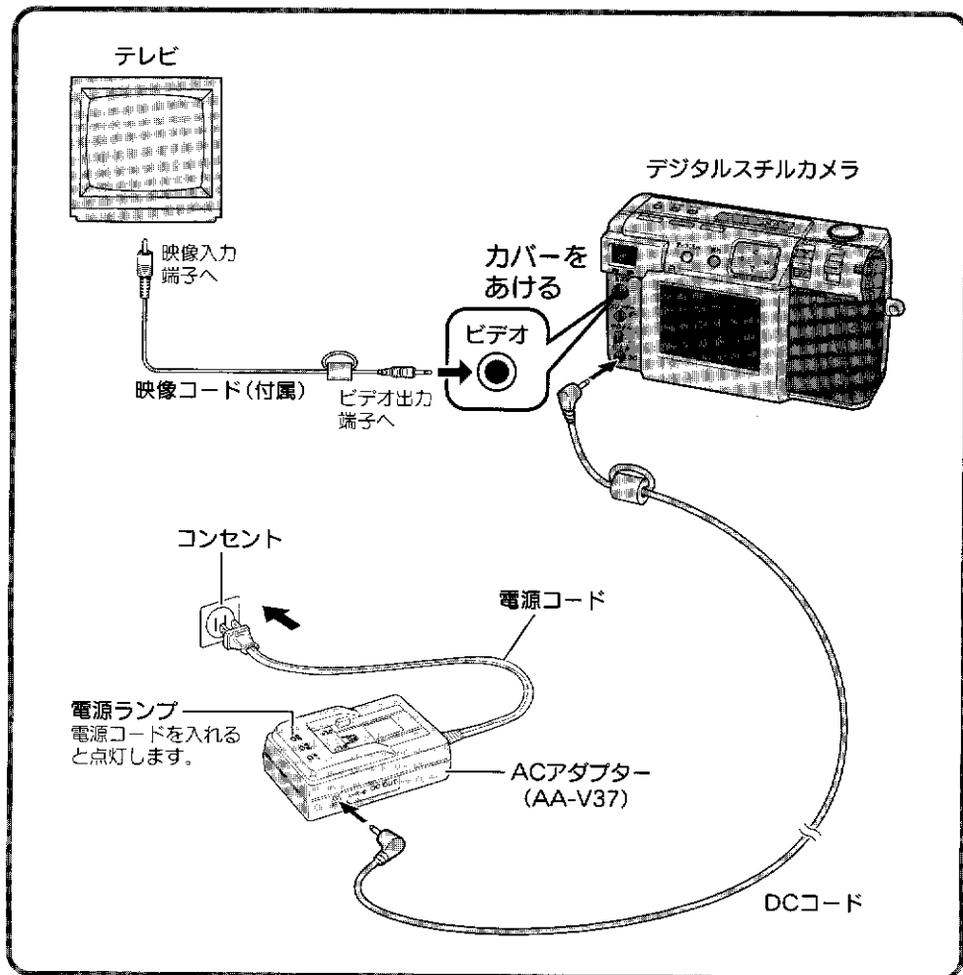
デジタルスチルカメラ

コンセント

電源コード

電源ランプ
電源コードを入れると点灯します。

ACアダプター
（AA-V37）

DCコード

- 本機の操作は39ページをご覧ください。
- テレビでは斜めの線などがギザギザして見えます。
- テレビの接続や操作のしかたについては、お使いのテレビ取扱説明書をご覧ください。

プリンターにつなぐ

撮影した画像をビクター製プリンター（GV-SP1、SP2）で簡単に印刷できます。

プリンター端子

システムプリンター（別売）
（GV-SP1, SP2）

デジタルスチルカメラ

入力端子へ

・端子形状をよく確認して、プリンターコードの接続をしてください。

カバーをあける

入力端子へ　プリンター

プリンター接続コード
・GV-SP1（別売）
・GV-SP2（付属）

プリンター端子

コンセント

電源コード

電源ランプ
電源コードを入れると点灯します。

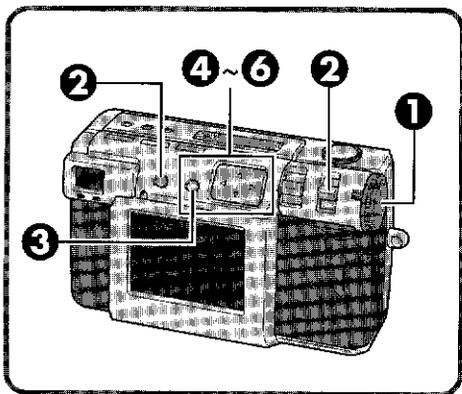
ACアダプター
（AA-V37）

DCコード

●プリンターの取扱説明書もご覧ください。

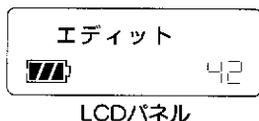
●ビクターシステムプリンター（GV-SP1）と接続する場合は、別売のプリンターコード（QAM0258-001）をビクターサービスにてお買い求めください。
（☞96ページ）

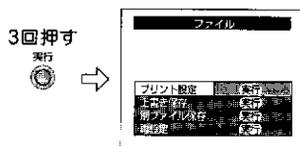
画像のスタイルを決めてプリントする

ビクター製プリンター（GV-SP1、SP2）をお持ちのかたは、撮影した画像を写真のように余白のないワク無しプリントと、白い余白のあるワク付きプリントを選べます。また、同じ写真を複数枚、プリントすることもできます。シール用紙を使って16分割の印刷をすると、小さなシールを作れます。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

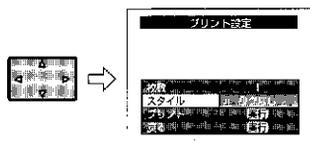
❷ モード切換レバーで「エディット」を選ぶ

- LCDパネルに「エディット」と表示されます。

LCDパネル

- 特殊効果／日付／カレンダーを入れてプリントしたいときは、手順❸から☞60～65ページをご覧ください。
- 「この画像」と表示、実行ボタンを押します。ディスプレイボタンを押すとインデックス6画面の表示となり、▲／▼／◀／▶ボタンで画像を選び、実行ボタンを押します。

❸ 実行ボタンを3回押す

- ファイル設定メニュー画面が表示されます。

❹ ▲／▼ボタンで「枚数」を選び、◀／▶ボタンで「1～25枚の枚数」を設定する

❺ ▲／▼ボタンで「スタイル」を選び、◀／▶ボタンで「プリントのスタイル」を設定する

●◀／▶ボタンを押すごとに

ワクなし ↔ ワクあり ↔ 16分割

と変わります。

- カレンダーを表示してプリントする場合、ワクなしの選択はできません。
- 日付またはカレンダーを表示してプリントすると、文字が見づらくなります。このようなときは、画像サイズを2032×1536に設定して撮影することをおすすめします。（☞36ページ）

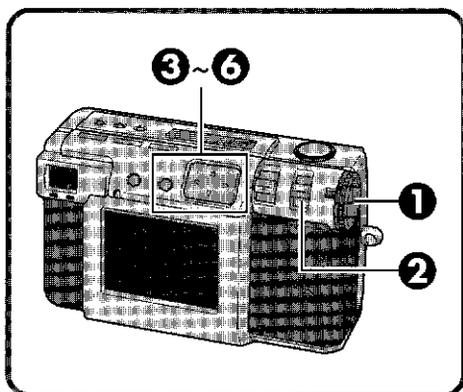
❻ ▲／▼ボタンで「プリント」を選び、実行ボタンを押す

- 「プリント中です」が表示されます。
- 手順❺までに指定された通りプリントを始め、「プリント中です」と表示します。途中で止めるメニューも表示されて、実行ボタンを押すと実行中のプリント終了後、手順❹にもどります。

- 画像サイズが2032×1536の場合、プリントに時間がかかります。
- プリンター側の用紙切れなどでエラーが発生し、再開するときは、再度実行ボタンを押してください。

画像をまとめてプリントする(DPOF設定)

ビクター製プリンター（GV-SP1、SP2）をお持ちのかたは、撮影した画像をDPOF※設定すると、次のようなプリントができます。

- すべての画像を1枚ずつプリントできます。
- 各画像に対して、それぞれ2枚以上の指定をしてプリントができます。

❶ 電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「DPOFセット」を選ぶ

- LCDパネルに「DPOFセット」と表示されます。

LCDパネル

- 液晶画面にDPOF設定メニューが表示されます。

❸ ▲／▼ボタンで「DPOF設定」メニューを選択し、実行ボタンを押す

前に設定したファイルがない場合は新規を選びます。

前に設定したファイルに追加する場合に選択します。

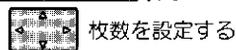
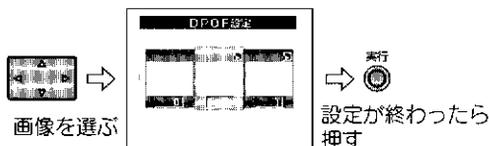
全画面同一枚数にセットする場合に選択します。

❹ ◀／▶ボタンで画像を選び、▲／▼ボタンで枚数を設定、実行ボタンを押す

画像を選ぶ

実行

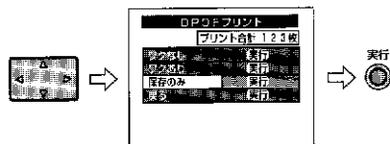
設定が終わったら押す

枚数を設定する

- DPOFプリントメニュー画面が表示されます。
- DPOF設定をすぐ保存したいときは、手順 ❻ に進みます。

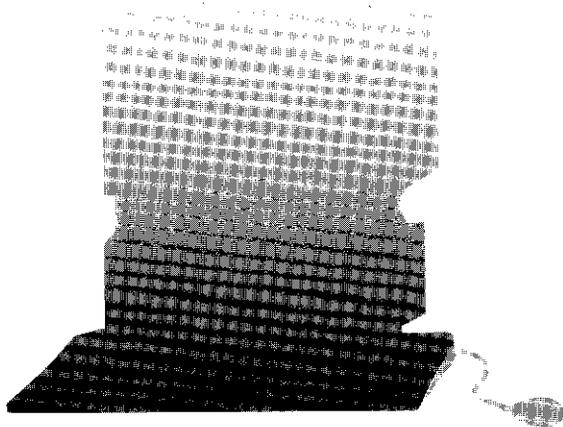
※ DPOFとは、Digital Print Order Formatの略で、DPOF設定しメモリーカードに書き込んだデータは、この規格に準拠しています。

❺ ▲／▼ボタンで「ワクなし／ワクあり」を選び、実行ボタンを押す

- 手順❹で指定された通りプリントを始め、「プリント中です」と表示します。途中で止めるメニューも表示されて、実行ボタンを押すと実行中のプリントが終了します。
- 手順❹で設定した合計枚数を、プリント合計 123 枚で表示します。
- 「戻る」を押すと手順❸に戻ります。
- プリントが終了して DPOF プリントメニューを表示します。

❻ ▲／▼ボタンで「保存のみ」を選び、実行ボタンを押す

- DPOF ファイルをメモリーカードに書き込みます。

●付属のソフトウェアの最新情報については、wwwサーバに掲載されます。
<www>http://www.jvc-victor.co.jp/

付属のソフトウェアは、デジタルスチルカメラ（GC-X1）と共用設計のため、添付の動画再生用ソフト（ビデオプレーヤー）は本機では使用できません。

パソコン編（Windows® 用）

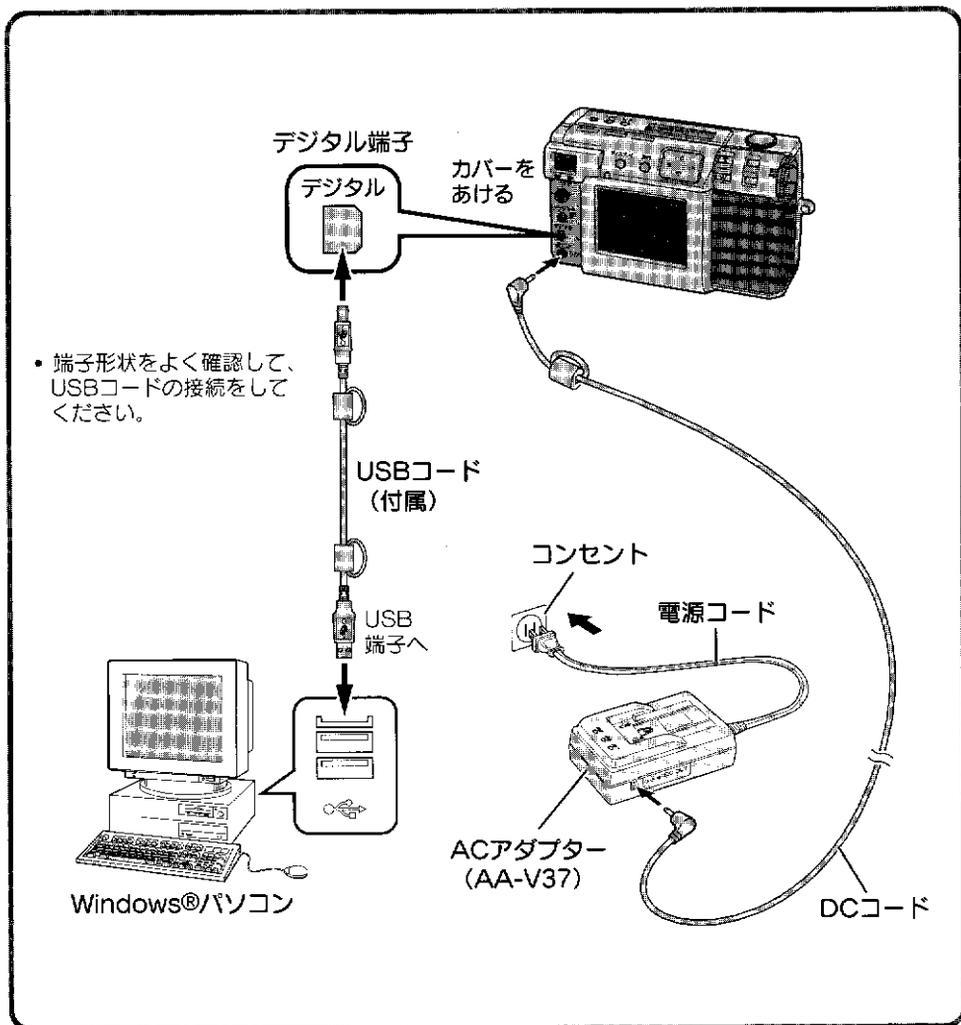
動作環境

USBドライバ（画像データ読み込み用）

- Microsoft®Windows®98(プリインストールモデル) ／Windows®98 SecondEdition (プリインストールモデル)
- USB端子（画像データをパソコンに読み込むためにパソコンのUSB端子と本機のデジタル端子をUSBコードで接続します。）
- CD-ROM ドライブ（内蔵または外付けで使用できること。）

ビデオプレーヤー（動画再生用ソフト）

- Microsoft®Windows®95 ／ Windows®98
- CPU　：Intel®Pentium®200MHz 以上
- RAM 容量：32MB 以上
- ハードディスク空き容量：1MB 以上
- カラー：65536 色以上
- CD-ROM ドライブ（内蔵または外付けで使用できること。）
  USBを持たないPCまたは、Windows®95をご使用の方は、市販品のフラッシュパス™または、PC カードアダプタなどをお使いください。
  フラッシュパス™やPCカードアダプタの動作環境は、店頭または、それぞれのメーカーへお問い合わせください。

＊ 上記の条件はこれをみたす全てのパソコンで動作を保証するものではありません。
＊ Microsoft®、Windows® は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
＊ Intel®、Pentium® は Intel Corporation の商標です。
＊ その他記載している会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

パソコンと接続する

デジタル端子

デジタル

カバーを
あける

• 端子形状をよく確認して、USBコードの接続をしてください。

USBコード
（付属）

USB
端子へ

コンセント

電源コード

ACアダプター
（AA-V37）

Windows®パソコン

DCコード

- パソコンに画像データをコピーしたいときは、本機に画像データが記録されているメモリーカードを入れてください。(☞30 ページ)
- あらかじめ画像にプロテクトをかけておくと安全です。(☞58ページ)
- 動画データには音声は含まれていません。
- パソコンと接続して使うときは、専用のACアダプター（AA-V37）をお使いください。
- 本機とパソコンをUSBコードで接続するときは、パソコン側で接続機器の認識ができないことがありますので、両方の電源を入れたあとにUSBコードを接続しますが、故障の原因にはなりません。

USBドライバのインストール

Windows®98の基本操作については、パソコンまたはWindows®98の取扱説明書をご覧ください。

準 備

Windows®98 を起動する

- もし他のソフトを使用している場合は終了させてください。（タクスバーに他のアプリケーションのアイコンがないことを確認してください）

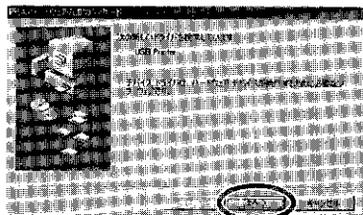
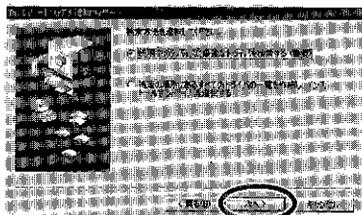
❶ 本機の電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「USBモード」を選ぶ

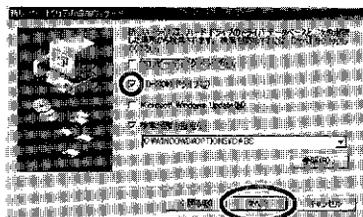
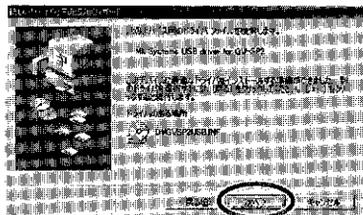
- LCDパネルに「USBモード」と表示されます。

❸ 本機とPCをUSBコードで接続する（前ページ参照）

- 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面を表示します。

❹ 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

❺ 「次へ」をクリックする

❻ 「次へ」をクリックする

❼ 「CD-ROM ドライブ」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックする

- 挿入したCD-ROMが見つからないと表示されたときは、「参照」をクリックし、付属のCD-ROMドライブを指定してください。

❽ 「次へ」をクリックする

❾ 「完了」をクリックする

動画再生ソフトのインストール

動画再生ソフトをインストールします。

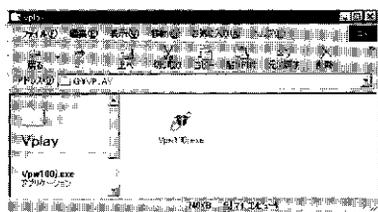
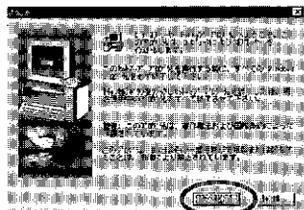
準備

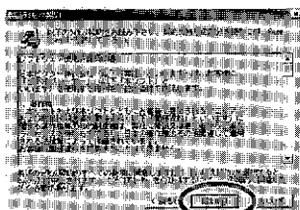
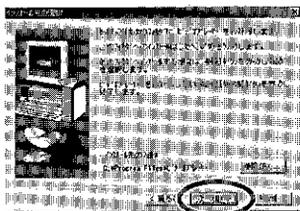
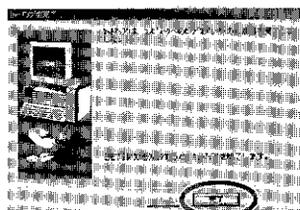
Windows®98を起動する

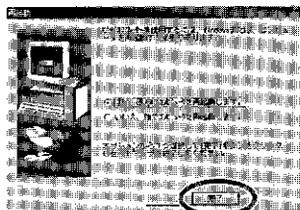
- もし他のソフトを使用している場合は終了させてください。

❶ 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

❷ CD-ROMの中の「Vplay」フォルダをダブルクリックする

❸「Vpw100j」ファイルをダブルクリックする

❹「次へ」をクリックする

❺「はい」をクリックする

❻「次へ」をクリックする

❼「完了」をクリックする

❽ 再起動する

- 「はい、直ちにコンピューターを再起動します。」をクリックして「完了」をクリックします。

本機からパソコンへ画像データをコピーする

パソコンまたはWindows®98の取扱説明書をご覧ください。

準備

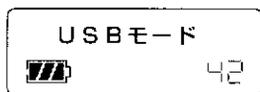
Windows®98 を起動する

- コピーしたいデータの記録されているメモリーカードを本機に入れます。

❶ 本機の電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「USBモード」を選ぶ

- LCDパネルに「USBモード」と表示されます。

USBモード
42

LCDパネル

❸ 付属のUSBコードで本機とパソコンを接続する

（☞75ページ）

❹「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする

- 本機とパソコンが正しく接続されると、本機の画像データを確認するための「リムーバブルディスク」アイコンが表示されます。

❺「リムーバブルディスク」をダブルクリックし、DCVI（動画データ）またはDCIM（静止画データ）フォルダから必要なファイルをコピーする

- コピーしたいファイルをキーボードのCTLボタンを押しながらドラックすると簡単にコピーできます。

- パソコン側で接続機器の認識ができないことがありますので、コピー終了後は、USBコードを抜いてから、モード切換レバー、電源ダイヤルを操作してください。

パソコンからファイルアクセスしているときは、フラッシュスタンバイLED（赤色）が点滅します。フラッシュスタンバイLED（赤色）が点滅中は絶対にUSBコードは抜かないでください。

E-メールするには

コピーした画像ファイルは、パソコンのE-メールソフトを起動したあとに添付ファイルとして画像データを送ることができます。

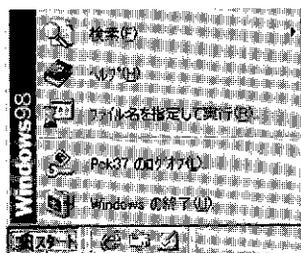
- E-メールで動画を送る場合、受信側でファイルを開くために動画再生ソフトが必要です。専用の動画再生ソフトはビクターのホームページからもダウンロードできます。

（http://www.jvc-victor.co.jp/download/index.html）

動画再生のしかた1

ビデオプレーヤーを使った動画再生のしかたには、ファイルの読み込ませ方によって、いくつかの方法があります。

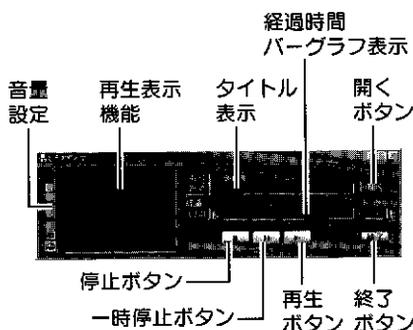
準 備

Windows®98 を起動する

❶ スタートボタンをクリックする

❷ 「プログラム」をクリックする

❸ 「ビデオプレーヤー」をクリックする

❹ 「ビデオプレーヤー」が起動する

- ビデオプレーヤーが表示されます。

❺ 開くボタンをクリックし動画ファイルを選ぶ

- 拡張子が jmm のファイルを選びます。

❻ 再生ボタンをクリックする

- 動画が再生されます。
- 本機で撮影された動画には音声は記録されていません。

- 音量設定を変更すると、パソコンの音量設定も変更されます。音量設定を変更したときは、ビデオプレーヤーを起動する前の音量に戻すことをおすすめします。

動画再生のしかた2

ここでは、簡単な再生方法を説明します。

準備

Windows®98 を起動する

❶ 動画ファイルをダブルクリックする

- 拡張子が jmm のファイルが動画ファイルです。

❷ 自動的に再生が始まる

- 停止ボタン、一時停止ボタンも使えます。

❸ 再生が終わったら終了ボタンをクリックする

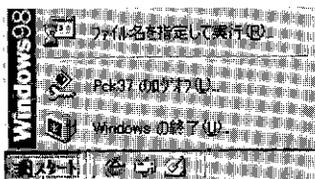
- プログラムが終了します。

アンインストールのしかた

ビデオプレーヤーを使用しない場合は削除します。

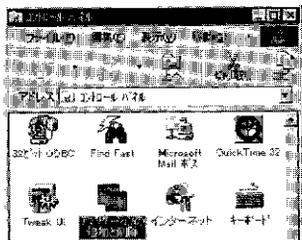
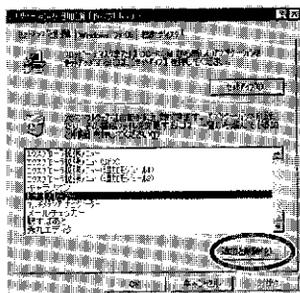
準 備

Windows®98 を起動する

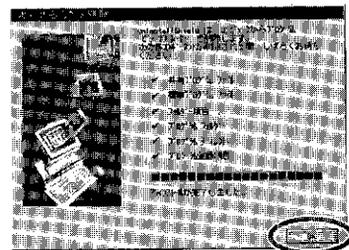
- もし他のソフトを使用している場合は終了させてください。

❶ スタートボタンをクリックする

スタートボタン

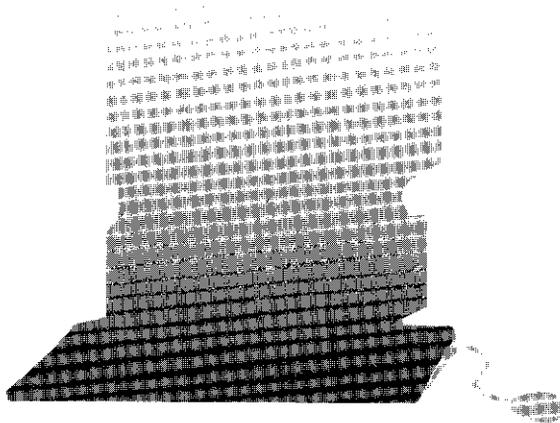
❷「設定」−「コントロールパネル」をクリックする

❸「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする

❹「ビデオプレーヤー」を選び、「追加と削除」をクリックする

❺「はい」をクリックする

❻「OK」をクリックする

- 手順 ❸ の画面に戻ります。正しく削除されていることを確認して「OK」をクリックします。

応用

●付属のソフトウェアの最新情報については、wwwサーバに掲載されます。
<www>http://www.jvc-victor.co.jp/

付属のソフトウェアは、デジタルスチルカメラ（GC-X1）と共用設計のため、添付の動画再生用ソフト（JVC Video Decoder）は本機では使用できません。

パソコン編（Macintosh® 用）

動作環境

USBドライバ

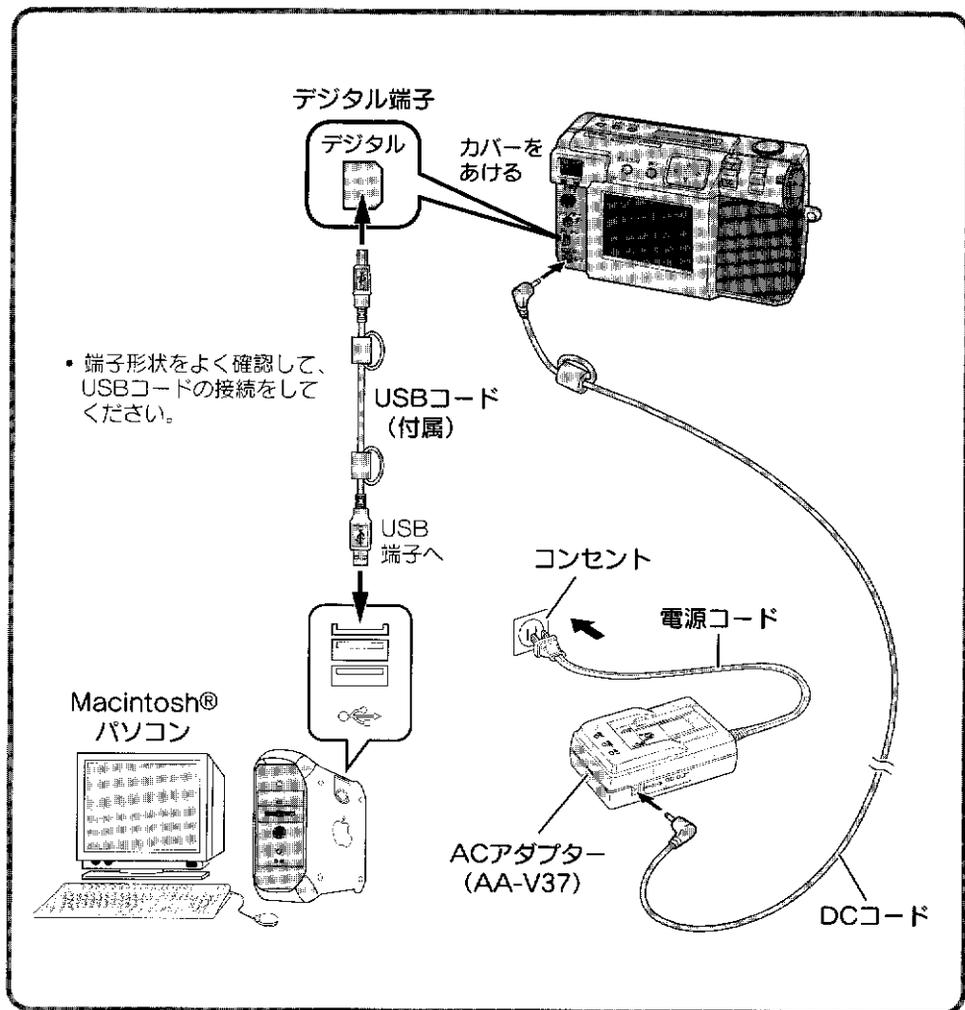
Macintosh® 動作環境は、以下２つの条件をすべて満たしている必要があります。

1. Mac OS 8.5.1 ／ Mac OS 8.6 ／ Mac OS 9.0 以上のコンピュータ
2. USB を内蔵したコンピュータ
   （iMac™、iBook™、Power Macintosh™ G3 ／ G4、Power Book™ G3 等）

JVC Video Decoder

- Mac OS 7.6.1 以上
- CPU：Power PC603e ／ 120MHz 以上
- Quick Time3.0 以上
- RAM 容量：32MB 以上
- ハードディスク空き容量：1MB 以上

USBを持たないMacintosh®ご使用の方は、市販品のフラッシュパス™または、PCカードアダプターなどをお使いください。
フラッシュパス™やPCカードアダプターの動作環境は、店頭または、それぞれのメーカーへお問い合わせください。

＊ Machintosh® は米国アップルコンピュータ社の商標です。
＊ その他記載している会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

パソコンと接続する

デジタル端子

デジタル

カバーを
あける

• 端子形状をよく確認して、USBコードの接続をしてください。

USBコード
（付属）

USB
端子へ

コンセント

電源コード

Macintosh®
パソコン

ACアダプター
（AA-V37）

DCコード

●パソコンに画像データをコピーしたいときは、本機に画像データが記録されているメモリーカードを入れてください。(☞30 ページ)

●あらかじめ画像にプロテクトをかけておくと安全です。(☞58 ページ)

●動画データには音声は含まれていません。

●パソコンと接続して使うときは、専用のACアダプター（AA-V37）をお使いください。

●本機とパソコンをUSBコードで接続するときは、パソコン側で接続機器の認識ができないことがありますので、両方の電源を入れたあとにUSBコードを接続しますが、故障の原因にはなりません。

ＵＳＢドライバのインストール

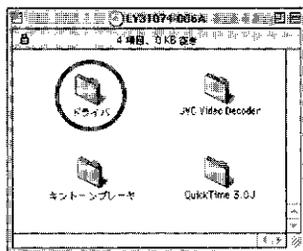
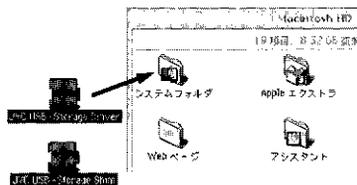
Mac OSの基本操作については、Macintosh®の取扱説明書をご覧ください。

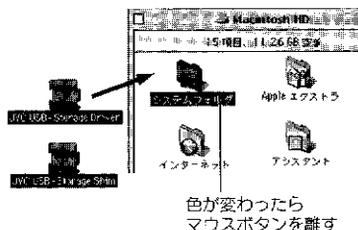
準 備

Macintosh®を起動する

- もし他のソフトを使用している場合は終了させてください。

❶ 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

❷ CD-ROMの中の「ドライバ」フォルダをダブルクリックする

❸ 「JVC USB-Storage Driver」と「JVC USB-Storage Shim」のファイルをまとめて、システムフォルダアイコンに合わせる

❹ システムフォルダアイコンの色が変わったらマウスボタンを離す

色が変わったら
マウスボタンを離す

❺ ダイアログボックスが表示されたら「OK」をクリックする

- 機能拡張フォルダにUSBドライバが入ります。

❻ 再起動する

応用

JVC Video Decoderのインストール

Mac OSの基本操作については、Macintosh®またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

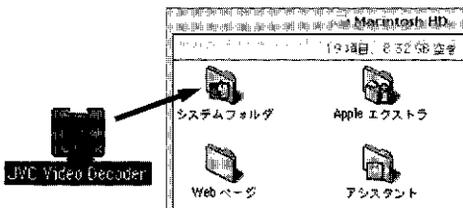
準備

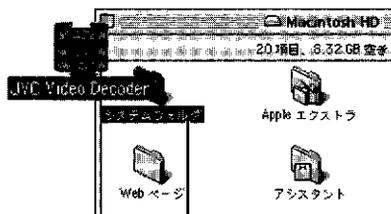
Macintosh® を起動する

- もし他のソフトを使用している場合は終了させてください。

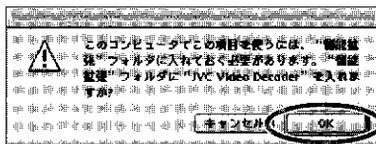
❶ 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

❷ CD-ROMの中の「JVC Video Decoder」フォルダをダブルクリックする

❸ 「JVC Video Decoder」ファイルをシステムフォルダアイコンに合わせる

❹ システムフォルダアイコンの色が変わったらマウスボタンを離す

- システムフォルダにドラック&ドロップします。

色が変わったらマウスボタンを離す

❺ ダイアログボックスが表示されるので「OK」をクリックする

- "機能拡張フォルダ" に入ります。

❻ 再起動する

本機からパソコンへ画像データをコピーする

Mac OSの基本操作については、Macintosh®またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

準備

Macintosh® を起動する

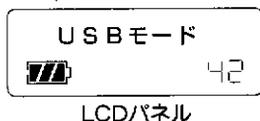
- コピーしたいデータの記録されているメモリーカードを本機に入れます。

❶ 本機の電源ダイヤルで「再生」を選ぶ

❷ モード切換レバーで「USBモード」を選ぶ

- LCDパネルに「USBモード」と表示されます。

USBモード
42

LCDパネル

❸ 本機と Macintosh を USB コードで接続する

(☞84ページ参照)

- 本機とMacintoshが正しく接続されると、Macのデスクトップ上に本機の画像データを確認するための「名称未設定」アイコンが表示されます。

❹ 「名称未設定」アイコンをダブルクリックし、DCVI（動画データ）またはDCIM（静止画データ）フォルダから必要なファイルをコピーする

- コピーしたいファイルをキーボードのoption ボタンを押しながらドラックすると簡単にコピーできます。

- データのコピー終了後は、「名称未設定」アイコンをゴミ箱に捨ててから、USBコードを抜いてください。

- パソコン側で接続機器の認識ができないことがありますので、コピー終了後は、USBコードを抜いてから、モード切換レバー、電源ダイヤルを操作してください。

パソコンからファイルアクセスしているときは、フラッシュスタンバイLED（赤色）が点滅します。フラッシュスタンバイLED（赤色）が点滅中は絶対にUSB コードは抜かないでください。

E-メールするには

コピーした画像ファイルは、パソコンのE-メールソフトを起動したあとに添付ファイルとして画像データを送ることができます。

- E-メールで動画を送る場合、受信側でファイルを開くために、JVC Video Decoder ソフトが必要です。専用のJVC Video Decoder ソフトはビクターのホームページからもダウンロードできます。

(http://www.jvc-victor.co.jp/download/index.html)

動画再生のしかた1

Quick Time Player（またはムービープレーヤー）を使った動画再生のしかたには、ファイルの読み込ませ方によって、いくつかの方法があります。

準 備

Macintosh® を起動する

- あらかじめ JVC Video Decoder ファイルをインストールしてください。（☞86ページ）
- 再生したい動画ファイルを本機からパソコンにコピーしてください。（☞87ページ）

❶「QuickTime Player」をダブルクリックする

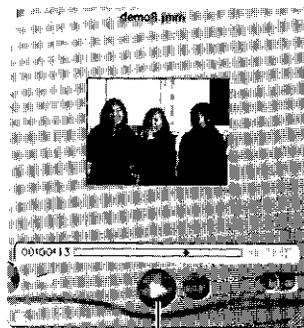
- 標準で Macintosh に付属しています。

❷ファイルメニューから「ムービーを開く」を選ぶ

❸ダイアログボックスからファイルを選択する

- 拡張子が jmm のファイルを選びます。

❹再生ボタンをクリックする

- 再生が始まります。
- 本機で撮影された動画には、音声は記録されません。
- Quick Time Player（またはムービープレーヤー）の使い方についてはアップル社のホームページ等（パソコンの取扱説明書参照）をご覧ください。

動画再生のしかた2

ここでは、簡単な再生方法を説明します。

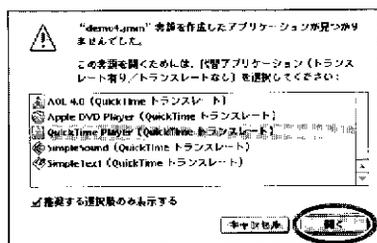
準 備

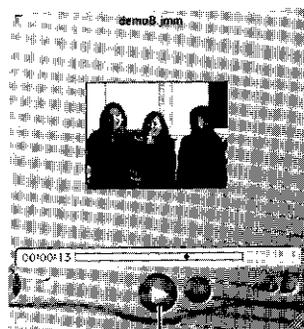
Macintosh® を起動する

- あらかじめJVC Video Decoderファイルをインストールしてください。（☞86ページ）
- 再生したい動画ファイルを本機からパソコンにコピーしてください。（☞87ページ）

❶ 動画ファイルをダブルクリックする

- 拡張子がjmmのファイルが動画ファイルです。

❷ ダイアログボックスから「Quick Time Player」を選び「開く」をクリックする

❸ 再生ボタンをクリックする

- 再生が始まります。
- Quick Time Player（またはムービープレーヤー）の使い方についてはアップル社のホームページ等（パソコンの取扱説明書参照）をご覧ください。

再生ボタン

- PC Exchange にjmmファイルを登録して使用することは避けてください。DOSフォーマットされたフロッピーディスクなどからコピーしたjmmファイルを再生できなくなる場合があります。

アンインストールのしかた

JVC Video Decoderファイルを使用しない場合は削除してください。

準 備

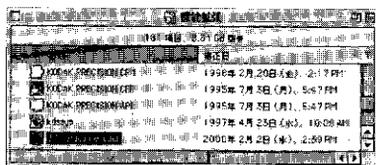
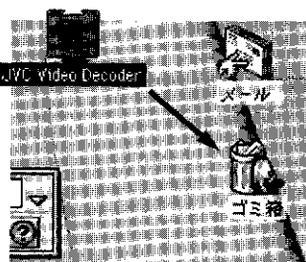
Macintosh® を起動する

- もし他のソフトを使用している場合は終了させてください。

❶ システムフォルダアイコンをダブルクリックします

- システムフォルダが開きます。

❷ 機能拡張フォルダアイコンをダブルクリックする

- 機能拡張フォルダが開きます。

❸ JVC Video Decoderファイルをゴミ箱アイコンに合わせる

❹ ゴミ箱アイコンの色が変わったらマウスボタンを離す

- ファイルはゴミ箱の中に移動しました。必要に応じて削除してください。

使用上のご注意

液晶画面について

■**表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■**小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**
液晶画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。
これらはメモリーカードには記録されません。

レンズや液晶画面の汚れを取る

■**レンズの汚れを取るには**
市販のレンズブロワーでほこりを落とし、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■**液晶画面の汚れを取るには**
市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

バッテリーについて

- リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくしておき、撮影直前にデジタルスチルカメラに取り付けてください。（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないように、ご注意ください。）
- 充電は10℃～35℃の温度範囲でおこなってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させる恐れがあります。また、低温で充電すると、十分な充電がされません。
- 充電後や使用後はバッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 長時間放置すると、自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性のものや、化学雑巾などで拭くと、変質したり故障の原因になるおそれがあります。

◆バッテリーを正しく保存するためのご注意

- 使用しない時は、温度が上がらない乾燥したところに保存してください。
- ご使用にならないときは、ACアダプターやデジタルスチルカメラからはずして保管してください。また、保護カバーが付いているときは、保護カバーを使用して保管してください。
- 長時間ご使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。また、使用時間が短くなることがあります。
- 長期間保存する場合は、半年程度に一回充電し、再び使い切ってから保存してください。

Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。
リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

故障かな？と思ったら

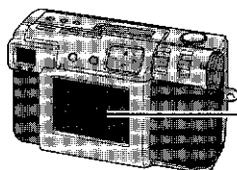
このデジタルスチルカメラはマイコンを使用しています。雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはデジタルスチルカメラから電源（バッテリー、ACアダプターなど）を外し、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

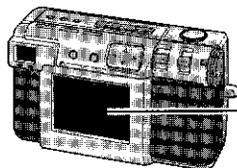
	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	電源が入らない	●バッテリーが充電されていますか？ ●電源は正しく接続されていますか？	26 28
撮影中	撮影できない	●電源ダイヤルが「切／再生／セット」になっていませんか？	18
	画像が出ない	●電源をもう一度入れ直してみてください。	18
	メニューの機能が使えない	●電源ダイヤルが「A」になっていませんか？	18
	シャッターボタンの半押しでピントが合わない	●暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？	42
	太陽光が映ると、画面が一瞬暗くなったり、黒くなったりする	●故障ではありません。	-
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	●ズームレバーで液晶画面の明るさを調節してください。 ●寒い場所で画像を再生していませんか？寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ●液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	25 - 96
	「メモリーがいっぱいです」が表示された	●メモリーがいっぱいで、撮影ができなくなると表示します。空きのあるメモリーカードを使用するか、画像をパソコンに保存してからカメラの画像を削除し、メモリーの空きをつくります。	-
	カメラ画のView画（液晶画面）に水平のエッジ部にカラーノイズが出る	●故障ではありません。記録される画像とは異なります。	-
	フラッシュ撮影時に電源が切れた	●フラッシュ撮影ではバッテリー残量が半分を表示していても、電源が切れることがあります。	-

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	何枚か残っているのに撮影ができなくなった	●残りの撮影枚数表示は目安です。撮影画像によっては、0になる前に撮影ができなくなります。	−
その他	フレーム機能が使えない	●フレーム画像データが消失していませんか？ ●フレーム画像データを記録したメモリーカードを入れてください。	53
	液晶画面に表示ムラが出る	●液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	−
	液晶画面に小さな光る点や黒い点が出る	●液晶画面は非常に精度の高い技術でつくられており、99.99％以上の有効画素がありますが、0.01％以下の画素欠けや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。	91
	スマートメディア™が初期化（フォーマット）できない	●プロテクトシールが貼ってありませんか？スマートメディア™のデータ内容を確認して、バックアップしてあればプロテクトシールを剥がしてフォーマットしてください。	31
	カメラのView画（液晶画面）に太陽や強い光の光源をうつすと上下に色つきの帯が出る	●故障ではありません。記録される画像とは異なります。	−

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機をテレビやラジオなどに近接してご使用になると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お知らせ表示

本機編

表示	対処内容	参照
メモリーがいっぱいです	メモリーカードの容量がいっぱいです。新しいメモリーカードに交換したり、不要な画像を削除して撮影可能な枚数を増やしてください。	30 59
日付が設定されていません	日付が未設定です。日付設定を行ってください。	24
書込禁止です	メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）になっています。記録内容を確認して新しいメモリーカードに交換またはプロテクト解除（シールを剥がす）してください。	30
表示できる画像がありません	メモリーカードに何も記録されていないときに電源ダイヤルを「再生」に合わせると表示されます。	39
メモリーカードがありません	・メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。 ・メモリーカードの電極面がほこりや指紋などで汚れています。やわらかい布などで汚れを落としてください。	30
メモリーカードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください。	31
エディット中です	エディット処理中に表示されます。	60
保存中です	画像データをメモリーカードに保存中に表示されます。	61
削除中です	画像データを削除している時に表示されます。	59
プロテクトされています	表示中のプロテクトされた画像を削除しようとした時に表示されます。	58 59
フォーマット中です	メモリーカードをフォーマットしている時に表示されます。	31

プリンター編

表示	対処内容
インクカセットがありません	プリンターにインクカセットが入っていません。
ペーパーがありません	プリンターにペーパーがない時に表示されます。
インクカセットが終了しました	プリンターに入っているインクカセットが終了しました。
インクエラーです	プリンターに入っているインクに何らかのエラーが発生したときに表示されます。
プリントエラーです 排紙しました	プリント中にエラーが発生し印刷途中で排紙したときに表示されます。
しばらくお待ち下さい	プリンター本体の温度上昇・キャンセル時動作停止までの時間に表示されます。
プリンターがつながれていません	デジタルスチルカメラとプリンターを接続せずにプリントしようとした時に表示されます。
ワクなしプリントが選択されています	ワクなし指定でワクなしできないペーパーがプリンターに入っている時に表示されます。
通信エラーです	デジタルスチルカメラとプリンター間が通信エラーです。
トレイがありません	プリンターに給紙トレイが未挿入です。
バッテリーがありません	デジタルスチルカメラのバッテリー残量が少しです。
プリントできません	プリントができない時に表示されます。

・詳しくは、ご使用になるプリンター取扱説明書の「こんなときは」をお読みください。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
	北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)31-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
	東北			
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8673	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-5-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
	関東・甲信越			
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
	千葉			
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	東京			
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	179-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9365	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
	埼玉			
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山3
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
	神奈川			
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	静岡			
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
	東海・北陸			
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0400

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2伊坂ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1016	798-0067	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町371-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ JVC CANADA INC.
・トロント (416-293-1311)
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス (714-229-8011)
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー (973-396-1000)
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル (808-833-5828)
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス JVC (U.K.) LIMITED
・ロンドン (0208-450-3282)
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

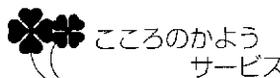
フランス JVC FRANCE S.A.
・パリ (01-61-04-11 11)
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール (255-8155)
31Kaki Bukit Road 3, #06-18 TechInk, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

サービスネットワークBS 9001

その他

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルスチルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

92〜95ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびメモリーカードなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルスチルカメラ
型　名	GC-X1(T)
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	(　　)　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルスチルカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。

➡

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

海外でお使いになるときは

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ

その他

- **再生できる画像は**
  日本と同じNTSC方式で出力できます。
- **デジタルカメラが海外で故障したときは**
  日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。海外でのアフターサービスは行っておりませんので、ご了承ください。

主な仕様

項　目	仕　様
電源	DC 5 V
消費電力	4.0 W(ファインダー使用時)、5.6 W (液晶画面使用時)
外形寸法	幅 111 mm ×高さ 67 mm ×奥行き 59 mm (突起部含まず)
質量	本体質量：約 290 g
	撮影時総質量：約 320 g (バッテリー、スマートメディア、ハンドストラップ含む)
許容動作温度	0℃～40℃
許容相対湿度	35%～80%
許容保存温度	－20℃～50℃
液晶画面	2.0 型　20 万画素ポリシリコン TFT
記録メディア	SmartMedia™ 3.3V (64MByte まで対応)
CCD	334万画素(有効324万画素)　1/1.8型正方画素原色フィルター インターレーススキャン CCD
焦点距離	7.5 mm ～ 17.5 mm (35mm スチルカメラ換算：37 mm ～ 86 mm)
レンズ	2.3 倍光学ズームレンズ
記録方式	JPEG (Exif Ver 2.1 ／ DCF* 準拠)、TIFF (非圧縮)、DPOF 対応
感度	80/160/320 (ISO 準拠)
絞り値(F 値)	F2.8/3.8、5.6、8、11
露出制御	プログラム AE、絞り優先 AE
露出補正	± 2EV (0.5EV ステップ)
最小被写体距離	約 2 cm ～ 50 cm (マクロ撮影時)
測光方式	マルチ、スポット
フラッシュ	内蔵　オート / 赤目軽減 / 強制 / 切
フラッシュ推奨距離	約 2.5 m
シャッタースピード	自動(プログラムAE:1/8～1/750秒、絞り優先AE:1/4～1/750秒)
ホワイトバランス	オート／マニュアル (晴、曇、電球、ワンタッチ、夜景)
フォーカス	オート／マニュアル

*DCF とは、Design rule for Camera File system の略で、(社)日本電子工業振興会のファイルシステム規格に準拠した記録方式です。

項　目	仕　様
セルフタイマー	1秒、8秒
画質	3モード（スタンダード／ファイン／非圧縮）
撮影枚数の目安 （8MBのメモリーカードを使用した場合）	スタンダード／ファイン／非圧縮 2032X1536：10枚／8枚／— 1024X768　：43枚／32枚／3枚 640X480　：87枚／65枚／8枚
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
専用プリンター端子	プリンターデータ専用出力（ビクター製プリンター）
ビデオ出力端子	φ3.5 mm 2極プラグ（NTSC方式）
デジタル出力端子	ミニUSB端子

ACアダプター（AA-V37）の主な仕様

電源	AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
入力容量	12 VA（100 V 充電時）、18 VA（240 V 充電時） 20 VA（100 V 撮影時）、27 VA（240 V 撮影時）
出力	DC 3.6 V、 0.77 A（充電時） DC 5 V、 1.5 A（電源供給時）
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）
外形寸法	幅68 mm × 高さ38 mm × 奥行き110 mm
質量	約230 g （DCコード含まず）

バッテリー（BN-V37）の主な仕様

電圧／容量	3.6 V、770 mAh
許容動作温度	10℃～40℃
許容相対湿度	35%～85%
保存温度	－10℃～30℃
外形寸法	幅30.5 mm × 高さ14 mm × 奥行き48.5 mm
質量	約30 g （端子カバー含まず）

● 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

索引

あ

か

さ

た

な

ご相談や修理は

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に92〜93ページをご確認ください。

修理相談

「お買い上げ販売店」へご相談ください。

ご転居等で保証書に記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、98ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、96〜97ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

東京お客様ご相談センター

東京☎ (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター

大阪☎ (06) 6765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

DVご相談窓口

☎ (045) 450-2770

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話 (045)450-2550

0500TYV＊SW＊SW